新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

目次

【令和７年（2025 年）８月３日（オンライン）開催分】　参加者 51 名 1
【令和７年（2025 年）８月 17 日（きらら深沢）開催分】　参加者 45 名 5
【令和７年（2025 年）８月 21 日（オンライン）開催分】　参加者 37 名 11
【令和７年（2025 年）８月 23 日（鎌倉商工会議所）開催分】　参加者 50 名 14

【令和７年（2025 年）８月３日（オンライン）開催分】　参加者 51 名

No.	質問	回答内容
1	新案につても反対する議員の主な反対意見に関し、その反対内容と、対する回答を教えてください。	先日（７月 23 日）市議会全員協議会では、大きく言うと、市役所を一つに集約する必要がない、新しく大きな市役所を作る必要がなくて今後分散していくという考え方に基づいたご意見があったと記憶しています。（このほか市議会全員協議会においては、政策決定のプロセスが透明化されていない、市が示したスケジュールでは市民の意見をまとめる時間が足りない、計画をリセットしてはどうか、庁舎を分けることの必要性がわからないなどのご意見がありました。） 新しく大きな市役所に多額な費用をかけて作る必要がないという点について、今後市役所自体は、オンライン化により市役所に来る必要なく手続ができる、ということがもうすぐそこまで来ていると考えています。それにより、当然職員の働き方も変わってきます。今回、深沢の新庁舎で多くの職員が仕事をする予定ですが、当初のまま 50 年、100 年ずっと変わらないということではありません。今後 20 年、30 年という中で職員の働き方も変わり、仕事の中身について見直しをして、例えば職員の執務室が減り、その分市民の皆さんのスペースが増えるというようなこともできるということを前提に考えています。市役所（職員の執務室）が市内各地に分散して、仕事をするということは現実的ではないと考えています。
2	この方針転換は暫定的なものなのでしょうか？最終的に全面移転を目指すお考えはないのでしょうか	最終的に全面移転するという前提で今回方針変更しているわけではありません。あくまでも、本庁舎はこの鎌倉の地域でその役割を担っていき、そして、深沢の新庁舎については、先ほど申し上げた多くの職員が働きます。それ以外にも、それぞれに図書館ですとか市民活動のベースとかを設け、全て市民の皆さんにこう解放していくという形になっていきます。市役所は、今までは単なる事務所というイメージだったと思うのですが、市民の皆さんが、毎日たくさん集まってくるような場所となるよう、鎌倉の本庁舎と深沢の新庁舎の両輪で進めていきたいと考えています。
3	１．分散化することにより、移転もしくは移転せずに現在位置のままよりも無駄なコストは発生しないでしょうか。 　例えば、職員内での移動・公用車の利用や現在地の建て替えの時に係る仮の市役所のコストなど想像ができます。 　他自治体で無駄なコストが発生しているケースをいくつか拝見しておりますが、現時点でどれくらいコストが膨れ上がるか試算できておりますでしょうか。 （システムのコストの面でも二拠点に事務所があると、専用のネットワークを敷設するなど、どうしてもコストが爆増するように見えてしまいます・・・） ２．市職員と執行部との連携が大変になるのではないでしょうか？ 　特に、災害時には通信機器などが使えなくなり、別れていると連携が途絶えてしまい、迅速な災害対応ができなくなるのではないでしょうか。	１．全て（市長・議会など）を一か所に集約するこれまでの計画が、財政的にも効率的であり、無駄なものを最小限に抑えられると考えていました。ただし、これまでの計画では、本庁舎を移転するために必要な議会での３分の２以上の賛成を得るのが難しい現実がありました。 そういう中において、そこだけに焦点を当てるわけではなく、深沢と鎌倉の２拠点での両輪を生かして、災害に強いまちづくりを実現させていてくために、今回の案を検討したところです。 （今回の案でも）市民の皆さんには大きな不便がないと考えています。職員が別々の場所にいることによる移動のコストや通信での連携といった課題に対しては、余計なコストがかかり続けるということではなく、現在も、市役所全てが１か所に集約しているという状況ではなく、例えばスポーツ課や環境部の部署が外部にあり、それほど変わりがないところがあります。市長、議会と多くの職員が、基本的に別な場所になるということになりますが、この間のコミュニケーションについては、昨今（今日のような）、オンライン（会議）も発達してきていることがあり、技術の活用で解決可能と考えており、行政コストが大幅に上昇するようなことはないと考えています。厳密な試算はありませんが、今回の２拠点という案によって大きく変わるものではないと考えています。 ２．災害時には全ての通信機器が使えなくなる想定の中で、災害対応を行う必要があると考えています。いざ大きな災害があった時には、災害対策本部を１か所に設け、多くの関係職員が参集することが基本であり、情報を集約して迅速に意思決定することが、災害後に市が行うことです。通信とは別な話ではありますが、災害対応もずっと２拠点でやっているのではないことをご理解いただきたいと思います。 ３．反対の方のご意見は多くありましたが、一つは鎌倉市のシンボルと思われているということは感じてきたところです。シンボルかどうかは、議論となるところですが、市役所が今の場所から全て無くなってしまうという印象を持たれた方が多くいらっしゃいました。この誤解を解くという意味で改めて説明しますと、現在の本庁舎がある場所には、これまでの計画でも今回の案でも市民サービスを提供する窓口や相談の場は残すこととしています。更には、

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	通常業務においても、行政のコストは上がるなど、いずれにしてもコストが上がるイメージしかないので、税金を納めている市民としては納得するのは難しそうです。 ３．そもそも移転反対される方の真意を行政・執行部側は認識されているのでしょうか。意見としては様々ですが、集約すると①鎌倉市のシンボル・象徴となるところだから。②市役所でしかできない手続きがあること。だと思います。 以下は、私の所感満載なので、対応の参考にしていただきたいです。 ①については、行政がいかにして説得できるかだと思っています。 市役所よりも旧鎌倉には象徴的なものがいっぱいあるので、なぜ”市役所”がシンボルとなるのか不思議です。昭和 44 年までは今のところに市役所はなかったわけで、そこまで歴史深いものでもない認識です。 ②については、こちらは是非取り組んでいただけると反対されないと思います。	中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能を現在の本庁舎がある場所に集約し、複合施設として市民の皆さんがいつでも集まり、楽しめ、交流できる場所にしたいと考えて計画してきたところで、この複合施設こそが鎌倉の象徴になると考え、説明してきました。けれども、否定的なご意見もありました。そのような中において、意思決定機関である市議会、それと市長、総務・企画という部署を今の場所に残しながら、鎌倉の中心としての役割を担っていくことは、鎌倉の歴史の文脈からしても必要なことだろうと判断して、今回のように計画変更を提案したところです。
4	総務省は位置条例可決なしに分散化が違法でないと言っているのか。 財政面は大丈夫か。本庁舎に本部機能を置き、深沢庁舎に 8 割の職員を配置するとなると、新庁舎の 170 億円、御成庁舎の新施設に 136 億円という必要経費が同時にのしかかる。財政面は大丈夫なのか。	地方自治法上、本庁舎について明確な定義が示されていないため、鎌倉市の考え方（今回の案の考え方）を総務省に説明したところ、総務省から大阪府の裁判例が一つの判断基準となるという考え方が示されました。その裁判例を前提にした上で法律の趣旨から照らし合わせると、鎌倉市の考え方に「大きな違和感はない」というのが総務省の見解でした。 金額面について、新庁舎の整備に約 170 億円、市庁舎現在地の利活用には約 140 億円かかる計画を示しています。これまで庁舎の整備にかかる費用について、基金を積み立てきているほか、100 年使っていくことを考えている新庁舎は、将来世代が使っていくことも考えて、市債（借金）を利用して財政計画を立てて進めていきます。続く鎌倉の本庁舎の整備費用についても、財政計画を作って返済していく形です。両方の整備費用を足し合わせても、財政的にはしっかりと負担に耐えられる計画です。 市の市債残高（借金残高）は、以前は 500 億円を超えていましたが、現在は 300 億円を切るくらいまで減ってきており、神奈川県内では（借金返済の）負担が一番軽い数値です。（市債残額は、平成 22 年度（2010 年度）末時点で 43,572,043 千円、令和６年度（2024 年度）末時点で 26,434,231 千円です。）
5	２拠点化にした場合、村岡・深沢地区のまちづくり計画との関係はどのようになりますか？これまでの計画と変わらないのでしょうか？	深沢のまちづくりは、基本的に変更はありません。 深沢のまちづくりは、「ウェルネス」というテーマのもとに進行していきます。約 30 ヘクタールの事業用地のうち、３割弱を鎌倉市が保有しており、その保有する土地の中で、新庁舎と消防本部、総合体育館（アリーナ）、グラウンド、公園などの公共施設を整備する予定です。残りの土地は、主に JR 東日本が所有（６割弱）していますが、この「ウェルネス」というテーマのもと、民間企業とも連携して、心身ともに健康になれるスポーツを切り口としたまちづくりをしていくかたちです。その中で、新庁舎とスポーツ施設を核にしながら、多くの人が集まり、交流でき、地域が活気づく場所にしていく計画です。今後、民間企業と連携しながら、具体化していきます。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
6	ご説明ありがとうございました。 現在ある「深沢支所」を新しく建替えて、「深沢新庁舎」として生まれ変わる方法はどうでしょうか？ あまりにも予算が膨大なので、増税が必須であると思います。	深沢支所を建て替える考えはなく、深沢地域整備事業用地に新庁舎を整備する計画です。（深沢支所のある深沢行政センター内の深沢図書館、深沢学習センターもその新庁舎と複合化する計画です。）深沢行政センターは支所等として利用しなくなることから、「鎌倉市公共施設再編計画」に沿って、賃貸するか、売却するかもしくは既存建物を活用していくかなどを検討し、財政負担を減らすという観点も踏まえ今後検討していきます（敷地内の国有地は平成 27 年（2015 年）に取得済み）。 なお、市庁舎現在地の利活用についても、「鎌倉市公共施設再編計画」に沿って、財政負担を減らすことをそもそも考えており、老朽化している中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能を、市庁舎現在地に移し、集約する計画です。これにより、今の中央図書館の土地の活用、鎌倉生涯学習センターの借地料の削減により、費用負担をしっかりと低減させ、財政的に破綻しないように、増税を行うことがないように進めていく考えです。 今回の計画の変更によって、何か追加となって新たに財政負担が明らかに増えるということは予定していません。ここを基本としておさえていただければと思います。市庁舎現在地の利活用について、「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画プラン 1.0」では、余剰となる一部を民間が活用することで、その収益で財政負担を少し抑えるということを検討していました。その民間に貸し付ける部分を、今回の案では本庁舎として鎌倉に残す機能の面積に利用するため、民間に貸すことができる面積が減少するという点が一つ財政的なデメリットですが、それ以外に多額な費用がかかることはないと考えているものです。
7	30 日に津波警報が出た際に、長谷地域の皆さんと避難場所にいたが、市役所本庁舎がいまの場所にあることがよい。 災害の起きる場所に近い場所に本庁舎があるという安心感がある。深沢地域にいったら、津波被災地に遠くなる。御成に本庁舎がある意味は災害対応でも市民の精神的基盤になる。それへの意見をお聞きしたい。	災害対策本部が近い現在の場所にあるということが精神的基盤になっているということだとすると、遠い人が不安であるかは、感じ方の違いの部分があるように思います。しっかり機能している災害対策本部があり、そこには単に市長や部長などの会議を開催できるだけではなく、その指揮に応じて職員がしっかりと災害対応を含めて仕事ができる状況が確保されているという点が、本質的に一番大事なことだと考えています。その点をご理解いただきたいと考えています。
8	現市庁舎敷地内での建て替え、補強も可能ではないか、駐車場の地下化を含め再度検討すべきと思うがどうか。	【補強ができないのかという点】 市庁舎現在地で災害対策本部機能を発揮し、大きな地震の後にも、職員が安全に災害対応を含めて仕事にあたれるようにする基準を満たしていくには、現在の本庁舎に更なる補強ブレースを入れなければなりません。手狭な本庁舎に更にブレースを入れると、職員の働くスペースが更に減り、補強したとしても働くスペースが足りないので、別の場所に新しい庁舎を作らなければならないという考え方になります。 【建替えができないかという点】 鎌倉市がかけてきた風致地区条例による高さ制限（市庁舎現在地は 10m 以下）があります。制限を外せばよいというご意見もありますが、鎌倉駅周辺のまちづくりとして決めてきたことで、鎌倉駅前で最大でも 15m までという高さ規制をかけています。もっと高い建物を建てたいという要求がある中、鎌倉のまちを景観面含めて、規制をかけてまちづくりとして守っていくためにこういうルールを作ってきた経過があり、市民や民間企業に厳しく制限をかけて、市役所だけは制限を免れて高い庁舎を建てるということについては、安易に進められる考え方ではないと考えています。更には、高い建物が建てられたとしても、地下にある埋蔵文化財の問題があります。本庁舎のある場所は、かなりの確率で大変貴重な文化財が埋まっていることが想定されています。隣の御成小学校の建替えの際に、奈良時代の鎌倉郡（本市と逗子市のほぼ全域と横浜市の西部と藤沢市の南東部）の役所（郡衙(ぐんが)）の跡や木簡等の大変貴重な文化財が発見されており、校舎の建替えのために杭を打ったりすると壊してしまうため、建設場所を見直し、杭を打たない低層の校舎とし、小学校を建替えた経過があります。このようなことを想定すると、現在の本庁舎の場所に、災害に強い、しっかりと杭打ちをした地震にも強い高さのある建物を、計画することは非常に難しいということで、本庁舎を移転するというこれまでの計画を作ったものです。
9	現市役所に集約予定だった生涯学習センター、図書館、交流施設等の活用について、本庁舎に議会等が残った際には、そのスペース分がその分案分され、十分なスペースがとれないということになると懸念しますが、そのあたりの計画について伺いたいです。	十分なスペースが取れないということはありません。現在の本庁舎がある場所に、中央図書館、鎌倉生涯学習センター、市民交流のスペースを作ったとしても余るスペースがあることから、「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画プラン 1.0」では、市庁舎現在地に行政機能と鎌倉生涯学習センター、中央図書館、市民交流スペースを複合化し、その余剰部分を民間に貸すことを示しています。その民間に貸す部分を減らし、今回の案では本庁舎として鎌倉に残す機能の面積に利用するため、公共施設として計画していた部分を減らそうとする案ではありません。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
10	深沢側に議会等がなくなるということは、当初予定していた新庁舎よりも小さく設計されるのでしょうか。規模は変わらないでしょうか。	単純化して説明すると、現在基本設計を進めていた新庁舎の建物は５階建てで、その５階部分を議会とする計画のうち、この５階部分にある議会機能を新庁舎に配置しなくなるということが今回の案の大きな変更点です。現時点では、５階部分を全て無くし４階建てにするのか、５階部分を市民活用スペース等とするのかといった点については、結論を出していません。この点は、市民の皆さんに説明していく中で、ご意見を伺いながら最終的に方針を決めていきたいと考えています。
11	御成の本庁舎建替えは、2033 年深沢新庁舎完成後になると思いますが、御成新庁舎の完成はいつ頃になる見込みでしょうか？ （まだ決まっていないとは思いますが、お答えできる範囲で）	市庁舎現在地の利活用による本庁舎整備の時期はまだ決まっていません。今後、今回の案による計画が順調に進んでいけば、令和 15 年（2033 年）３月前後に深沢の新庁舎が開庁した後、市庁舎現在地についても、そこから速やかに災害に強い場所として活用できるように、深沢の新庁舎と並行して検討していきたいと考えています。現在の本庁舎を建替えるのか、もしくは耐震補強して使い続けるのかについても、まだ定めていないため、深沢の新庁舎の計画と並行して検討を進めていきます。
12	御成庁舎に市長部局と議会部局を残すとして、中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能を同じ建物に入れることが可能なのか。特にホールと議場を同じ建物に造るのは、面積面から無理があると思うがいかがか。	ホールと議場を建物に入れることは面積的には可能だと考えています。 今後、様々な検討の余地あると考えており、仮に議場と市民の皆さんが使うホールの両方を作ることが過剰だという議論になった場合には、普段は、市民の皆さんや職員が使うホールとして使い、議会の時は、しっかりと整えて議場として議会を行う、というように、あらかじめ兼用できる議場をつくる事例も全国に様々あることから、そのように作っていくことは非常に効率的で良いのではないかと考えています。
13	反対意見の主要なものは歴史的文脈という理解でいいのでしょうか	反対意見には様々ありました。例えば、市民の皆さんにもっと理解してもらうべきだというご意見や深沢の場所が危ないというご意見がありました。また、鎌倉の中心を移すべきではない、深沢が中心になるのはおかしいという意見もありました。 様々なご意見がある中で今回の案ですべて対応できているとは思いませんが、位置条例の改正案が否決されてから２年半で感じてきたところは、市役所本庁舎を移転することに賛成か反対かという議論になりがちであったことです。こういった意見ばかりではありませんが、鎌倉の中心を移すべきではないというようなこととか、深沢が中心になるのはおかしいのではないかというような意見もありました。鶴岡八幡宮が鎌倉のまちの中心、真ん中にあり、その鶴岡八幡宮を中心に三方山で囲まれて、一方が海であるということがこの鎌倉の歴史的な文脈であると考えています。そこの文脈に沿って、本庁舎の機能を鎌倉に残していくことが、一定の意義のある部分だと考え、本庁舎を鎌倉地域に残していくという今回の案に至っています。
14	12 月議会に計画変更の議案を出すとのことですので、松尾市長は 10 月の市長選挙に出るお考えですか。	今回の説明において、「私が」という主語が「松尾崇が」と聞こえてしまう部分もあるかもしれませんが、市の計画を、市の代表として説明させていただいています。この計画は 10 月の市長選挙の結果によって、考え方が変更になる可能性はあると思いますが、この市の考え方を踏襲していく方が市長になれば、この流れに沿って進めていくということでご理解をいただければと思っています。
15	移転可否の質問です。鎌倉側に住んでいる方の反対意見がフォーカスされがちですが、深沢側に住む方の意見は蔑ろになっていないでしょうか？	深沢に住む方の意見というのが、どういう意見かというところもあろうかと思います。本庁舎を深沢に置くべきというご意見だとすると、今回それは実現できないということになるため、私（市長）の立場からはお詫びを申し上げます。ただ、今回本庁舎を移転するということは手段でしかなく、それをやりたいわけではないというのが私（市長）の考えでもあり、市が進めてきた考え方でもあります。繰り返しになりますが、あくまでも大きな地震があった時に、市民の皆さんのために市の職員が継続して災害対応を含めて仕事ができる環境を作らなければならない、これが大前提としてあります。この点については、どの地域にお住まい方にもご理解いただけるのではないかなと思っています。 東日本大震災があった当時、10 年前には議会でも大きな議論になりました。今の市役所のままで本当にいいのか、市役所としてどうするのか、という問いをたくさん突きつけられたところです。市としては、そうしてスタートラインに立ち、災害に強い新庁舎を作っていく中で、この鎌倉市全体が災害に強いまちにしていくということを目指しながら、この計画を進めてきたというところをご理解いただければと思っています。
16	新庁舎に予定されていた、余剰スペースの民間活用について、どんな内容を想定していたのかを知りたいです。	深沢の新庁舎ではなく、現在地利活用において余剰スペースを民間活用する計画をしていました。余剰スペースの民間活用については、民間からの提案を自由に受けていくことを前提として考えていたところです。考えられるのは、この場所が鎌倉の中心に、市民の皆さんがたくさん集まってくる、そういう魅力的な場所になっていくことを目指していたことから、例えばレストランやカフェ、もしくは図書館や学習センターに関連性のある民間のコワーキングスペース、ちょっとした宿泊所などもあろうかと思いますが、まだ決めているということではありません。 鎌倉地域のこの場所の魅力を高めていくというものは必須だと考えておりますので、決して高いお金を払った企業などが入るという考え方で選定していくというものでは決してありませんことをご理解いただければと思います。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
17	なぜ見直さざるを得ないことになったのか、市長としての率直な思いを聞きたいです	鎌倉市議会令和７年（2025 年）６月定例会前に、各議員にこれまでの計画への理解を求める働きかけを行いましたが、結果的に位置条例の改正に必要な数の賛同は得られない状況でした。こういった状況を踏まえ、市議会６月定例会への位置条例の改正議案の提案を見送るとともに、この事業の一番の目的である「市民の安全安心を守るため、大規模災害時にも業務継続ができる安全な庁舎整備を早期に実現する」ということを最優先し、今回の案を考えたものです。

【令和７年（2025 年）８月 17 日（きらら深沢）開催分】　参加者 45 名

No.	質問	回答内容
1	見直し案によるコスト増についてお伺いします、初期整備費用、年間運営費用の増をそれぞれお示し願います。	見直し案による施設整備にかかるコストの大幅な増加はありませんが、現在の計画では、現在地の一部を民間企業に賃貸し、収入を得ることを想定していたため、議会機能や本庁舎が現在地に残ることにより、民間利用部分の面積が制限されるため、期待していた収入が得られなくなる可能性があります。この点が財政面なデメリットですが、市庁舎現在地の計画の全体規模やコストについて、大きな変更はないと考えています。
2	先日の津波は被害がなかったが、今後津波被害の対応のためにも、深沢で早く庁舎建設を進めてほしい	令和７年（2025 年）７月 30 日に津波警報が出され、市役所に多くの方々が避難しました。今回は津波警報のみだったため避難者の受け入れが可能でしたが、大きな地震を伴う場合には庁舎の安全性が確保できず、避難の受け入れが困難になります。 東日本大震災では、鎌倉市は震度４を観測し、その際、市職員や市民は庁舎外に一度退避し、庁舎の安全確認後に庁舎内に避難していただきました。この経験から、地震に強い庁舎を拠点として整備することが重要であると考えています。
3	旧市内と周縁部のアンバランスを是正するため、遊休地を活用するという発想に賛成です。その上で、遊休地の活用においては、長期的な人口減少トレンドをどのように想定しているのか教えてください（市内新興住宅地の過疎化などを踏まえ）。	遊休地活用を、深沢地域という想定で回答します。この地域には約 30 ヘクタールの土地があり、そのうち約３割弱が鎌倉市有地です。市はこの土地に新しい庁舎や総合体育館、公園、グラウンド等を作ることを計画しています。残りの約６割弱はＪＲ東日本が所有しているため、ＪＲ東日本と協力し、土地区画整理事業を通じて市民にとって良いまちづくりになるよう進めています。また、人口減少の中で、人口を維持し、鎌倉のまちの魅力を高めるため、このまちづくりを進めていきたいと考えています。
4	現行案に反対する市議は(１)歴史的な観点で位置が動くこと、(2)必要な機能がなくなる懸念、(3)お金を使いたくない　などいくつかの理由があると思います。要因別にそれぞれ何人の方が移転に反対されていますか？何が１番のネックでしょうか。	歴史的な観点で本庁舎の位置が動くことについて、この理由を特に強調する議員の方が２名ほどいるものの、それだけが理由ということではなく、単純に人数を把握できるものではありません。 市庁舎現在地に必要な機能がなくなる懸念について、移転により現在の本庁舎での窓口がなくなり、市民に不便が生じるのではないかという懸念もいただいていますが、市民にとって必要な機能がなくならないよう、整備する予定です。（従前の案からこの考えは変わっていません。） お金を使いたくないということについては、無駄な支出を避けたいという理由で反対されている議員の方もいます。
5	深沢の分庁舎の計画案でもモノレールの運送能力が今でまもキャパオーバーのため計画の見直しが必要です。それよりも人口 5 万人の逗子市のゴミ焼却場を人口 17 万人の鎌倉市が間借りするのはあまりにもアンバランスの上、逗子のゴミ焼却場も老朽化の問題があります。計画を白紙にして深沢にゴミ焼却を新設する事を強く提案します。	大船駅発の下りモノレールの混雑は確認しており、特に多くの職員が深沢で働く場合、運送能力を考慮し、職員の働き方等を考えていく必要があると考えています。 また、ゴミ処理に関しては、逗子市のゴミ焼却炉の老朽化を背景に、広域でのゴミ処理も検討しているところです。日本全体で焼却能力の余剰があるため、鎌倉市では逗子市に限らず、他の自治体や民間と協力して安定的にゴミ処理ができるようにしていくという考え方であり、ご理解いただければ幸いです。
6	反対派の人達にも納得いただける折衷案として、とても良いと思います。移転により今の市役所の近くに住んでいる住民は、不便にならないのでしょうか？	市庁舎現在地と深沢新庁舎の両方で手続が行えるようにすることとしています。これにより、市庁舎現在地の近隣の方が不便になることはありませんが、専門的な相談や人生で一度くらいの手続（例えば、道路に関することや家を建てる相談）は、直接訪れていただく必要も考えられます。ただし、手続等のオンライン化も進めていますので、その点につきましては不便にならないと考えています。
7	震災後の事務を行うため、全国の市役所職員やボランティアの力が必要です。その拠点になる市役所は広い安全な建物が必要、今の所では津波被害や土地環境が悪い、何階トラフの前に早く対してほしい	ボランティアセンターは社会福祉協議会を中心に考えていくことになりますが、多くの他自治体等の職員を受け入れることは重要であり、その視点も踏まえて新庁舎が必要であると考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
8	ここ何十年先まで続く話なので、高齢者の話よりも、若者、若年層の意見を聞いて進めた方が良いと思うが、どういう状況が？	高齢者の方だけが反対しているわけではなく、年齢に関係なく次世代のことを考え、共通の理解を持つことが重要だと考えています。高齢者の中にも次世代のために考える人もいるため、「俺はもう使わないからいいや」と決めつける発言は避けていただき、世代を超えて次世代を考える姿勢が大切だと考えています。
9	① 深沢予定地の液状化懸念について　26.5メートルに岩盤層があると聞いていますが、杭打ちは何メートルまで行なう計画でしょうか？岩盤層まで、杭打ちを行えば、液状化は防げるのではないでしょうか？ ②現庁舎はそのままの形で残すのですか？　それとも、一部解体するのですか？	①について、地盤に打ち込む杭の長さは岩盤までとなり、岩盤層まで 26.5m であれば、杭は約 27m と想定しており、この長さが特別に難しいものではないと考えています。詳細な設計はこれから進める予定です。 ②について、現庁舎をそのまま残して耐震補強するか、解体して新たに建て替えるかはまだ決定していない状況です。現庁舎をブレースで補強する案も技術的には可能で、この点に関しては、今後市民の皆さんからの意見を参考に決定する必要があると考えています。
10	防災拠点は深沢に整備されると承知していますが、見直し案が実現された場合、市長は通常は鎌倉の庁舎に常駐するのでしょうか。その場合、通常の業務や、特に有事の際に意思決定のスピードに影響は生じないのでしょうか。	現庁舎に市長室はありますが、実際には外出することも多くあり、常に庁舎にいるわけではありません。どちらの庁舎（深沢新庁舎または鎌倉庁舎）にいても災害発生時には対応できるようにしなければいけないと考えており、意思決定のスピードには特に大きな影響はないと考えています。
11	柏尾川流域は、たくさんのマンションが建っているが、反対派の人達は、市役所移転先は、底なし沼みたいなことを仰られていますが、実際はどうなんでしょうか？	底なし沼という表現は、大げさであると思いますが、きちんと科学的に安全に建てられることは間違いないと考えています。
12	なぜこの時期に一部見直しを行うのでしょうか。市長の任期との関連はありますか。	市長選挙が 10 月に行われるという時期ではありますが、その前に見直すことは任期とは直接的には関係がありません。市議会議員選挙の結果を受け、今後の方針を考える必要がありました。市長選挙は市民のみなさまから重要な判断を得る機会でもあるため、大切にしていくべきだと考えています。
13	神奈川県内 17 市で 1960 年代に建った市役所は平塚市（1964 年）、相模原市・鎌倉市・秦野市（1969 年）と聞いています。今の市庁舎を補強して使い続けるとした場合、あと何年使い続けることができると反対派の方は主張されているのでしょうか？5 年-10 年程度延命できたとしても、総額ではさらに高くなるのではないでしょうか？	現庁舎は耐震性能だけでなく、空調設備や断熱性能など様々な課題を抱えています。現在の空調設備では、場所によって温度の不均一がおき、性能についても現代の水準には及びません。これらの課題も踏まえ、建物を補強して使い続けるよりも、新しく建て替えた方がトータルコストを抑えられると考えています。
14	物価高騰により建設コストが跳ね上がった点について、反対が無ければ、もっと安く、もっと早くできていたと思いますが、どの道、立て直し急務な状況なので議論の余地はないかと思いますが、財政的にはどうでしょうか？	物価上昇が続く中で、新庁舎の建設を迅速に進める必要があると考えています。財政的には、過去 15 年間、市では財政の健全化に取り組んでおり、市債残高は 400 億円以上（平成 22 年度（2010 年度）末時点で 43,572,043 千円）から 300 億円未満（令和６年度（2024 年度）末時点で 26,434,231 千円）に減少し、神奈川県内でも負担が最も低い自治体の一つとなっています。このような財政状況を背景に、新庁舎を建設するために市債を活用しつつ、財政計画を策定して計画を実現していく方針です。
15	新庁舎を建設することによって市民の負担（税金など）が増えることはありませんか?そこを心配なさる方もいらっしゃると思います。	深沢の新庁舎と鎌倉の庁舎を整備することによって何か増税をするということは考えておらず、そのような予定もありません。
16	進め方に対する意見です。日本は議会制民主主義の国であり、市民の意見は市議会（直接的には市議選）で示すべきであり、市との直接対話を強要することには反対です。	今回の市議選での民意だと思います。そこを受け止めて、今回の案を考えたということになります。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
17	市庁舎の機能について説明がされた。シティオフィスの機能が2箇所に分かれることで非効率で経費増になる恐れはないか？	当初の案は１か所で集まって業務するため効率的でしたが、この案では効率性の点でデメリットはあると考えています。 しかし、テクノロジーの進展により、人が移動して対面で会議するかオンラインで開催するかといった選択肢が増え、効率的に対応できると考えています。 そのため、大きな問題にはならないと考えています。
18	議会対策？中途半端な折衷案？何故、市議会の理解を得るためにとことん対話出来ないのでしょうか？	位置条例の否決後の２年半、市議会議員と対話してきましたが、結果として、合意を得ることができませんでした。 今回、議会での議論や市民との意見交換を経て、この提案を出したものです。
19	三鷹市役所は駅から離れていて、三鷹市民に聞くと、本庁舎に行かなくても支所で事足りるので、立地の良いところにある必要は全くないとみんなが口を揃えて言っているのですが、鎌倉市ではどうなんでしょうか？	オンラインでの手続は、役所に行く必要がなくなるため、今後はそのような方法がますます増えると考えています。一方で、対面で手続したい方にとっては不便になるとの指摘がありますが、鎌倉でも深沢でも対面での手続は可能ですので、問題はないと考えています。
20	本庁舎の定義についてもう少し詳しく教えてください。本庁舎・分庁舎にはそれぞれどのくらいの職員が勤務しますか？（編集済み）	本庁舎の定義は総務省から明確なものは出ていなく、大阪府の判例が参考となります。判例では職員数よりも意思決定機関の所在が本庁舎と見なされる重要な要素とされています。 この考え方に基づき、新しい案での本庁舎の考え方について、国からも特に違和感はないと見解をいただいています。職員数は、深沢が４に対して本庁舎が１の割合を想定しています。
21	現在の庁舎を残すとして、市長室とか議会と窓口業務以外に、何か作る計画はありますか？	観光の窓口は鎌倉駅と観光協会周辺が良く、文化財の窓口は鎌倉歴史文化交流館や鎌倉国宝館の近くに置くことが良いのではないかと考えていますが、配置については今後の検討事項です。
22	特に災害時においては市長を始めとする意思決定機関の迅速な対応が求められると思うのですが、その部分が鎌倉庁舎に残ることで問題は起きないのでしょうか？	（No.10 の回答を参照してください。）
23	大変難しい状況のなか、鎌倉の未来のためによい方向性をつむぎだされた関係者の皆様のご努力に心より敬意を感じます。この上は、気候変動による自然災害の激甚化などを鑑み、一刻も早い新庁舎建設が必要かと感じましたが、現在の計画ではいつ開庁予定なのですか？	令和 15 年（2033 年）３月前後の開庁を予定しています。
24	質問 3 点あります。口頭で質問します	後でお聞きします。
25	御成の現在地の活用についてせっかく将来を見越した良い計画を作ったのだから、それが２拠点案で後退するようなことがないようにしてほしいが、いかがか。	後退することがないように配慮して進めていきたいと考えています。
26	鎌倉市議会議員の反対している方々は説明をしているのに何故反対をするのでしょうか？議員の方々の公約は子供の為、お年寄りの為とおっしゃってますがホントに思ってるんでしょうか？	各議員の公約について、（その真意までは）わかりませんが、それぞれの方に反対の理由があるものと認識しています。
27	今回新庁舎ついて安心安全市員のためと言われているけれど、昨年 12 月 25 日鎌倉市環境部ごみ対策減量課職員が市民に対して脅迫や脅しをしたことについて答えてください。	個別のお話のため、きちんと対応したいと考えています。
28	現在の庁舎は、震度 6 までなら大丈夫との事だが、能登では震度 7 が観測されているので、震度 7 で考えるべきではないか？	現在の庁舎は、震度６の地震に対して倒壊しない基準までの耐震性能を持っていますが、実際には詳細な状況を確認しないと確実な判断は難しいです。震度６では直ちに建物が倒壊することはありませんが、被災後もそのまま安全に利用し続けることができない可能性があります。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
		新庁舎では、建築基準法で求められる 1.5 倍の地震力にも耐えられるよう設計を進めます。現在の庁舎を改修する場合でも、同様に耐震性能を高める必要があると考えています。
29	議会など現在地に残す施設はどのように建設するのか。仮議会棟を深澤に作るのか。	深沢の新庁舎が先に完成すると、次に鎌倉の庁舎をどうするかという問題が生じます。建て替える際、仮設で議会棟を作ることも一案ですが、現庁舎周辺にある分庁舎を活用し、議会を一時的に移すことで対応できることも考えられます。そのあたりは、今後検討していきます。
30	2 拠点という形をとってしてもなぜ深沢に庁舎を作らねばならないのか。それは市民の命を守るためという説明に心から納得です。これまで反対されてきた方への配慮もされていることに市長はじめ職員の皆様のご尽力に感謝します。これでもなお反対する理由がわかりません。コスト面を考え元々の本庁舎移転に賛成だから、という理由ならわかりますが	ご意見として承ります。
31	今の庁舎だと危険かもしれないのに何故移転に反対されるのか、2 拠点にすると人件費がかかるのは反対されてる方々は納得されてるんでしょうか？危ない庁舎に市民の方々が利用するのは議員さんは納得してるんですか？	何度も議会では説明していますが、反対されている議員の方がどう考えているかということを代弁することは難しいです。
32	説明会では、今までの状況に詳しくない人もいると思いますので、以下のような内容を A4 一枚にまとめた表を印刷して配ってはいかがでしょうか。現状の課題/その対策（市役所移転の内容）、今まで反対された理由/その回答（予算の関係であれば具体的な見積費用等の内容を盛り込む）	ご意見として承ります。
33	市役所に何回か手続きでお伺いしましたが、スペース・空調等も含め職員の方の勤労環境として劣悪であると感じます。政治的に難しいテーマではありますが、働く方にとっての必要性も、定量化(例えば職員一人当たりのスペースなど)や、定性基準と比較して訴えていくことはできませんか？(私は市役所関係者ではありません)	ご意見として承ります。
34	今の庁舎だと地下に電気室があると伺いましたが地震、津波がきた時に電気室は機能できるんでしょうか？	現庁舎では地下が水没した場合には、電気室は使えなくなります。
35	先に深沢に新庁舎をつくり、その後に御成の現在地の整備をする。御成に「残す」行政・議会機能は、御成の整備時には深沢の新庁舎で引き受けなくてはならないのだから、その間引き受けることを考慮した深沢新庁舎にしなくてはならない。基本設計を大きく変更して減築に進むべきではないと考えるが、市長の見解は？	これまで基本設計を進めていた新庁舎の建物は５階建てで、その５階部分を議会とする計画でした。この５階部分にある議会機能を新庁舎に配置しないことが今回の案の大きな変更点です。現時点では、５階部分を全て無くし４階建てにするのか、５階部分を市民活用スペース等にするのかといった点については、結論を出していません。この点は、市民の皆さんに説明していく中で、ご意見を伺いながら最終的に方針を決めていきたいと考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
36	この計画はこれからの鎌倉の未来にとってとても重要な勇気あるものだと思います。未来世代のまきこみなども計画されていますか？	未来世代の巻き込みは十分ではないと思っていますので、未来世代の方にもこういう場に来てもらい、いろんなご意見もらえるようにしてまいりたいと思います。
37	1 鎌倉の人口重心は旧市街地内外南北 5km 東西 9km。議会は場所ではなく内容でどこでも問題はないのでは？広報情報はかなりあるが理解していないのは市民の問題でもあるが更に広報は必要。電源設備・老朽化など現庁舎は問題が多い。今の非常に価値の高い場所は市民活動・インバウンド・災害対策のための新しい施設を将来を考え創って欲しい。	現庁舎の場所は非常に価値の高い場所であり、市民の皆さんが集まれる場所にしていく考え方に変わりはありません。また、災害にも強い場所にしていく考え方にも変わりはありません。
38	今の市役所でも職員が多すぎると思ってるのに2拠点になったらまた人件費がかかり市民の負担がかかるのは皆さん納得できるんでしょうか？税金の為に働いてるわけでわないんですけど	市の職員数は判断が難しいですが、現在の業務量増加に伴い残業が増えており、職員も厳しい状況にあると考えています。しかし、AI や IT 技術の進展により業務の効率化が期待できますので、２拠点になったとしても、人件費が増加しないようにしていきたいと考えています。
39	現行市庁舎を補強して使い続けるとした場合の、補強後の想定耐用年数を教えてください	現在の庁舎は築 56 年であり、老朽化が進行し、鉄筋の錆びや爆裂が見られることから、当時の設計では 100 年持つような、耐久性は期待できないと考えています。
40	地震や津波の避難先として、今後は本庁舎も使えるようになるのですか？もし使えない場合は鎌倉駅周辺住民や観光客は、深沢まで移動することになるのでしょうか？その場合、移動は可能と想定されているのでしょうか？	災害の状況によりますが、非常に大きな地震の場合はそのまま使えない可能性が高いです。その際、深沢に移動するということではなく、鶴岡八幡宮などの社寺を避難場所として協力いただけるよう協定を結んでいます。今回、御成中学校に約 2,000 名の方が避難したこともあり、小中学校や公共施設を活用することが現状での避難対策と考えています。
41	御成の庁舎は必ず建て替えてください。本庁舎かどうかよりも全市域の市民にとって役に立つ施設かどうかの方がはるかに大事であり、外部有識者の委員会も建て替えが望ましいという意見だったのですから、建替えという方向性を確固としたものにしていただきたいが、いかがですか？	ご意見として承ります。
42	今　市民は平均年間何回くらい市庁舎へ行ってますか？議会へ行ってもいつも傍聴者は 5 人もいないが	人にもよりますが、一般的な手続だけの場合はほとんど行かないのではないかと思います。
43	市庁舎を一番知っているのは市職員だと思います。反対する人たちは毎日来るわけでも一日中いるわけでもありません。その意味で今回の見直しに関して職員とはどの程度議論を尽くしているのでしょうか。職員からの意見は取り入れてますか。	この見直し案については、職員内の議論はまだ十分ではありませんが、従来の市役所の移転に関して、職員が理解した上で進めてきたものと認識しています。今後の見直し案についても、職員全員が理解した上で、意見をいただこうと考えています。
44	気候変動などにより、災害の規模は現状の延長線にはないと思います。風速 70 メートルの台風なども予測されています。現庁舎はもとより、新庁舎もそこまでの打たれ強さを前提に設計されているのでしょうか？	新庁舎は法律に基づいた耐風圧などを検討するほか、市庁舎現在地も同様に法律の基準に従って進めていく予定です。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
45	反対派の人達は、今の庁舎を長く使いたい様なので、そうすると、現在地を建て直してのホールや図書館は作られないでしょうか？	鎌倉市では公共施設再編が大きな課題であります。現在の中央図書館や鎌倉生涯学習センターなどのすべての公共施設を同じ場所で建て替えると、市の財政では賄いきれないほどの費用がかかるため、市民サービスを維持しつつ効率的に再編する必要があると考えています。
46	現庁舎を津波対策の為の大規模避難所としての役割.機能を持たせる必要性があると考えますが…いかがでしょうか？	スペースに限りはありますが、避難場所としての役割、機能を持たせることは考えています。
47	この計画をかかげて、市長選にうって出て、当選したら、進めることに問題ないと考えますが、いかがでしょうか？	あくまでも、鎌倉市の行政計画の変更ですので、誰が市長になってもこの考え方でいくということであれば、当然進んでいくということになります。
48	説明会のお話を聞いて、今回の市役所移転の内容は、議会の 2/3 以上の賛成は不要なので、議会の賛成不要かと思います。つまり、市役所移転の予算について議会の賛成（1/2 以上）が得られれば、今回の案は実行できるので、市長が変わっても変わらなくても深沢に新庁舎を作るということで間違いないでしょうか。	市長が代わり、その市長の考え方によって、この方針が変更になる可能性はあると思いますが、この市の考え方を踏襲していく方が市長になれば、この流れに沿って進めていくということでご理解をいただければと思っています
49	説明会ありがとうございました。市役所の皆さんも本当にお疲れさまでした。大変分かりやすい説明と、市長さんが市民の方々の質問に答えていかれる中でどんどん理解が深まりました。新案ではなく、現行案での移転を希望していますが、新案の形も(2 拠点で費用がかかるというデメリットはありますが)よいのかなと少し感じました。	ご意見として承ります。
50	二つになった場合、相当の費用がかかるってことをまずご認識いただきたい。私達の試算では、新庁舎建設に 170 億円、移転跡地建設 144 億円、合計 310 億円掛かる。ただし、これはだいぶ前の計算ですので、おそらくこの倍はかかるでしょう。全国で工事ができなくて、計画を変更した市や町がいっぱいあります。大磯町、軽井沢町、世田谷区、他にもいっぱいあります。今は箱物をタイミングで作る時代じゃなくて、しっかり維持し直していくのが良いと思います。私達の計算ですと、現庁舎をきちっと改修すれば 19 億円でできます。先ほど古いと言っていたが、京都市役所は、築 98 年ですが、立派に機能し、京都の名所になっています。鎌倉市役所もきちっと手入れすれば、鎌倉の名所にもなるかもしれない。東京駅も築 100 年を超えています。 この間、津波騒ぎがあって、避難場所となる小学校の体育館にエアコンがない、トイレの洋式化が進んでいな	深沢小学校の体育館の便器の内訳は把握していませんが、全て洋式にはなっていないという認識です。（深沢小学校の体育館の便器の内訳は、男子トイレに小便器４、和式便器２、女子トイレに洋式便器１、和式便器２になります。） 体育館の空調とトイレの整備に関しても県内自治体に比べて遅れをとっていることは認識しており、改善に向けて取り組んでいます。新しい施設の建設について否定的な意見も一部ありますが、現状を考慮し、計画を継続する必要があると考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	い。深沢小学校の体育館に七つトイレがありますが、このうち、洋式トイレはいくつあると思いますか。 答えは七つのうちたった１つです。今一番必要なのは、小学校のトイレを全部洋式化し、エアコンを設置することのほうが対策として有効だと思いませんか。	
51	移転計画について、議会を通っていない。これは皆さんご存知だと思いますが、この議会が通らない、通っていない状況で、なぜか市は移転を先に進め、それに対し新聞等で見ますと相当な設計等いろんな関係で費用がかかっています。その辺りを議会に通してから、進めるなら話がわかるのですが、その議会が通っていないにも関わらず、移転だけが先走りして、それに対してどの程度の額がもう既に使われているのか。また、業者選定の観点から、競争入札により業者を選定したのか、それとも市長の知り合いの業者に頼んだのか。まずは議会を通してからすべてのことを進めるのが筋だと思うが、どうか。	事業者選定について、市長から何かを頼むということは全くありません。 その上で、位置条例の可決には議会で３分の２の賛成が必要ですが、予算は過半数で可決をいただけます。これまでの計画や基本設計に関する予算につきましては議会の承認を得て進めてきました。今回の提案では、位置条例の可決に必要な３分の２の賛成ではなく、過半数の賛成で可決されるため、進めることができるものと考えています。
52	市長が間に入って、賛成、反対の両方の方々の意見を聴き、反対している人が何に反対しているかを改めて聞いてから話を進めたらどうか。	議会制民主主義の中では、そのような決定は議会を通じて行われますが、市民の意見を無視する意図はありません。否決の後も、市民の反対意見を職員や私（市長）自身が伺い、対話を行ってきました。反対意見にも耳を傾けながら進めていますので、ご理解いただきたいと考えています。
53	昨年日建設計がコンペを取った本庁舎案は、逆に分庁舎に適用されるのでしょうか？設計者がまた再任されるのですか？それとも、日建設計さんでそのまま進めるのでしょうか。	（基本設計については、受注者である）日建設計の案を基本にしながら進めていく対応を考えており、そのまま日建設計に履行していただく予定です。
54	位置条例の３分の２が通らなかったので、80%を深沢に、20%を鎌倉に残すことになったということで、位置条例が可決していたら、新しい案はなかったということでよいか。余計なコストがかかることやコミュニケーションもやりにくくなるので、反対の人と賛成の人とよく話をして、まとめてほしい。 本日市長が答えた回答は後日ホームページで公開してくれるのでしょうか。	仮定の話ですが、位置条例の可決をいただいていれば、今回の案はなかったものと考えています。 その上で、２年半かけて取り組んできましたが、議会制民主主義の中での３分の２の賛成を得るのが難しいと判断し、方向転換を決断しました。この決定は、災害時に市民への影響を最小限に抑えるために迅速な進展が必要であると判断した結果です。３分の２の賛成を得る努力を続ける選択肢もあることは認識していますが、現段階では早急に結論を出すことが市民にとって重要であると考えています。 今回に限らず、この４回の説明会におけるＱＡについては、ＨＰに載せる予定です。

【令和７年（2025 年）８月 21 日（オンライン）開催分】　参加者 37 名

No.	質問	回答内容
1	本庁舎は安全に業務ができないが、建て替えも耐震化も現実的ではないという判断の元、新庁舎の話がでてきた	議会を残す本庁舎の整備については、新庁舎の整備の次になります。その整備方法は、まだ決定していませんが、耐震補強、または、建替えの二つの方法が考えられます。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	ものと理解しましたが、本庁舎で議会を残す、市民サービスを残すというのは理解できません。それらは安全でなくても問題無い、と言う判断でしょうか。 中途半端に残すのであれば新庁舎にまとめた方が効率よいように思います	鎌倉中央図書館、鎌倉生涯学習センターの機能、議会、更には市長室、総務や企画の政策決定機関については、面積的には入り、災害にも強い施設とすることを考えています。
2	深沢新庁舎は深沢支所を改築すれば良いのでは？ 新庁舎は村岡新駅とセットになっていると聞いた。そして駅周辺の地価が上がって西鎌倉や鎌倉山まで固定資産税が上がると聞いた。どのくらい増税になるのか説明してほしい。	既存の深沢支所を改築するだけでは、必要なスペースが確保できず、大地震などの災害後に職員が業務を継続できる環境が担保できない形になりますので、深沢地域のまちづくりのなかで、新庁舎を作る計画としています。 また、新庁舎が村岡新駅とセットになっているという情報は誤っており、セットにはなっていません。 駅周辺の地価が上がって、固定資産税が上がるということはあると思います。ただし、どのくらい増税になるかということについては、具体的な試算はできていないです。
3	窓口業務は本庁舎も新庁舎も同じような手続きが出来るのでしょか。	本庁舎も新庁舎も、市民の皆さんが必要な窓口業務については、同じような手続ができるように考えています。土木関係や、家を建てるなど専門的な手続については、深沢の庁舎に移ることになりますが、市民の皆さんにとって通常の手続については不便のならないようにと考えています。
4	新案の場合「結局鎌倉市役所はどこですか？」と言われた場合「鎌倉と深沢の両輪」という回答になるのでしょうか？市民との対話の件からすると、市民としては両輪ではなく「鎌倉です」という回答が求められるのではないか （故に新案に対してもある程度の反対意見が出てしまうのではないか）とも思い質問させて頂きました。	鎌倉駅前にある庁舎が本庁舎となります。市役所はという質問ですと、鎌倉と深沢の両輪で市業務を行っていくことになるのでは、鎌倉と深沢の両輪という回答になります。
5	１，2 拠点整備案は、妥協的色彩が濃厚で、無理、無駄が多い。 ２，市民は新庁舎への大型投資による財政圧迫を懸念。 ３，市内インフラの劣化が進む中で、新庁舎に予算を集中して良いのか。 ４，将来の財政見通しと返済計画を詳らかにして、「原案」で市民の信を問うべきではないか。	仮に３分の２以上の賛同が得られ位置条例が可決していれば、この案は出さなかったことからすると、新しい案が妥協であるとのご指摘は受け止めます。無理、無駄が多いとのご指摘については、市民の皆さんから見ても無理、無駄を極力少なくすることが必要だと考えています。従前の案と比較すると、議会、市長室、意思決定機関のいる本庁舎と、多くの職員がいる深沢が離れるため、職員間等のコミュニケーションの取り方が課題になります。会議はオンラインで対応できることや、市長が市長室に常時在席しているわけではないことから、距離が大きなデメリットにはならないと考えています。 大型投資による財政圧迫については、新庁舎の整備はやらなければならない不可避な事業です。その理由は、大きな災害があった際に、市職員が継続して仕事ができる環境がないと、市民の皆さんに多大な迷惑をかけてしまうためです。鎌倉市の財政状況を説明すると、市債（市の借金）の額は、かつては 400 億円（平成 22 年度（2010 年度）末時点で 43,572,043 千円）を超えていましたが、現在は 300 億円（令和６年度（2024 年度）末時点で 26,434,231 千円）を切っており、神奈川県下の自治体のなかでも、市債の割合が一番低い状態です。今後庁舎整備に借金を作ることになりますが、新しい庁舎は 100 年使っていくことを目指しており、負担の平準化をしながら、返済計画を作って進めていく予定です。 インフラの劣化が進む中で、新庁舎に予算を集中するとの指摘についてですが、市では鎌倉市公共施設再編計画と鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画を作成し、マネジメントを進めています。指摘のとおりインフラの劣化が進むことは大きな問題です。庁舎を作るからインフラを先送りするのではなく、しっかりとマネジメント計画に基づいて進めていきます。 現案で市民に信を問うべきとは、住民投票の話かと思います。住民投票も一つの手段だと思いますが、議員や市民の皆さんと話しているなかでは、住民投票で賛成の結果がでても、そのまま議会の３分の２以上の賛成につながるとは限らないと考えています。もちろん、市民の皆さんの意見を伺うことはこれからも継続していきます。
6	今での計画と今回の計画で市としての施設整備金額はどの様に変わってくるのでしょうか？	深沢の新庁舎は約 170 億円、鎌倉の市庁舎現在地は、新しく作るのであれば、約 140 億円がかかる試算です。どちらも物価上昇の影響は加味していないので、その上昇分を加えることになります。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	また、深沢の新庁舎計画は縮小することになると思いますが、その結果、深沢の敷地活用（市庁舎以外の計画）に従来からどの様な変更が考えられますか？	深沢の新庁舎は５階建てで基本設計を進めており、５階の部分に議会が入る計画となっていましたが、新しい計画では議会が新庁舎には入らないことになります。この５階部分をなくして４階建てにするのか、５階建てのまま、５階部分を市民の新たなニーズにあわせたものにするのか結論を出していません。今回新しい方針を示し、市民や議会とも意見交換を進めながら、結論を出したいと考えています。
7	ご説明ありがとうございました。見直し案で本庁舎を建て替える場合、御成小のように地下埋蔵文化財を保存したうえでの建築となりますか？	本庁舎の建て替えで、地下埋蔵文化財の存在が明らかになった場合、御成小学校の事例のように、それを保護した上での建築する可能性が高いと考えます。現在の本庁舎で既に地下工事を行い、埋蔵文化財を壊してしまった部分については、杭を打つことが可能となりますが、それ以外の現在の駐車場の部分などは、杭を打たずに建築することになると考えます。
8	１）深沢の庁舎へはシャトルバスなどは通るのでしょうか。 ２）今の本庁舎で作られるシティホール機能についてもう少しどのようなものがお聞かせいただけますでしょうか。手続きの窓口だけでなく、市民が楽しく使える場所になることを期待しています。	現在の鎌倉の本庁舎と深沢庁舎を繋ぐために、シャトルバスないし何らかの方法でつないでいくことなど交通環境整備が必要になると考えています。 今の本庁舎でつくるシティホールは、鎌倉中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能を入れていくことに変わりはありません。図書館、ホールの機能がバラバラにあるのではなく、大和市のシリウスのような図書館やカフェがオープンな形で併設され、市民が集える場所、落ち着いて勉強ができる、市民の居場所として使える、交流できる、また新たな気づきや学びがあるなど、楽しく使える場所を目指したいと考えています。
9	市役所が深沢と御成の二拠点体制となることでどのようなメリットがあるでしょうか？	従前の案でも深沢も鎌倉にも市の職員はいる計画でしたが、鎌倉の本庁舎に従前の案よりも多くの職員がおり、深沢の新庁舎４、鎌倉本庁舎１の割合になる案です。二拠点としたメリットですが、災害に強い庁舎が二つできることで、市民にとっては避難する場所、市役所にとっては災害に対応する拠点が二つになることになります。
10	本庁舎を再整備して議会や図書館、生涯学習センターを入れるとの事ですが、図書館や生涯学習センターの元の場所はどのように活用される形でしょうか。売却して本庁舎再整備費用に充てるような形でしょうか	公共施設の再編計画の考えからすると、様々な公共施設や、インフラの更新に莫大な費用が掛かります。集約して残った土地は、売却や賃貸などにより、新しく作るものの財源に充てていく方針です。個別の土地については、具体的には決定しておりませんが、鎌倉生涯学習センターの土地は借地ですので、跡地になれば返す予定となります。深沢行政センターも、深沢の新庁舎に移るため、その土地も財源として活用していきます。このように財源を確保していきながら、公共施設を順次更新していくことが、今の鎌倉には必要になります。
11	鎌倉と深沢の両輪での２拠点体制の新しい提案ですが、今後のスケジュールとして、着工までの目処及び移行時期などはこれまでの計画と比べて遅れてしまう見込みでしょうか。	新しい案では、令和 15 年（2033 年）の３月前後を開庁の予定時期にしています。従前の計画よりは少し遅れる見込みです。
12	玉突きのお話が出ましたが、鎌倉芸術館への影響はあるのでしょうか？（あれが市営なのか民間のものなのかわからずに質問しております）	鎌倉芸術館は市が運営している施設で、土地は借地です。現時点では特に影響はありませんが、老朽化が進んだ場合、その更新は市の財政負担になるため、将来的な課題として捉えています。
13	ありがとうございました。既に回答ありましたら申し訳ございません。 本庁舎に機能を残す場合にも、いつまでも現庁舎は利用出来るわけではないと思います。 将来的にはすべての機能を深沢に移転するのでしょうか。	現庁舎を永続的に利用できるわけではなく、新しく建て替えるか、耐震補強するかを検討していきます。深沢に新庁舎が建設され、多くの職員が移転した後、現庁舎に手を入れることになりますので、それまでには方向性を決めることになります。
14	本庁舎の土地を再使用する必要はあるのでしょうか。鎌倉駅に極めて近い一等地を市の施設で使うのはもったいないのではないでしょうか。鎌倉駅から多少離れても安い土地を使い、費用を抑える事はできないのでしょうか。	従来の案は、鎌倉駅に近い一等地にある市庁舎現在地を有効活用する視点で議論してきました。市民の財産ですので、居心地の良い場所、行きたい場所にすることに主眼を押して、鎌倉中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能のほか、交流、活動、発表の場となることを目指してきました。 今回の見直しの中で議会など意思決定機関を市庁舎現在地に残すことになり、市民活動の場と本庁舎が、別の場所ではなく、一体となった、若しくは補いあえる場所にしていくことが鎌倉の一等地の活用として相応しいと考えています。
15	質問ではなく感想ですが・・・	本日、説明会の資料を画面共有させていただいていますが、説明会の資料は市のホームページに掲載しています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	個人的には二拠点体制には非効率の観点はあるもののレジリエントの観点からは良いとも感じます。 本日の説明資料でざっくりとは機能がどう再配置されるかと言うことは分かりましたが、松尾市長が口頭で説明してくれた内容が含まれた資料があると良いと思いました。 また、今までの計画に比べてどの様な良さを発揮できるのか、財政負担はどうなるのかなど明らかにした情報も提示してもらえると良いと感じました。	【資料の URL】 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/202508setsumeikai.html
16	湘南深沢の水害に対する心配については移転反対する方々へは納得していただけるのでしょうか？	（最大規模の降雨を想定した）1,000 分の１確率の浸水想定では、深沢の土地区画整理事業のほとんどのエリアが浸水する想定となっており、新庁舎の整備予定地も、柏尾川から一番遠い場所ですが、現状では大部分が浸水する想定になっています。この対策として、土地区画整理事業を進めるなかで、浸水しないよう造成する計画です。ただし、想定外の浸水もあり得ますので、地下に電源を置かない、１階も浸水を想定して作るなど市役所の機能が失われないよう計画していきます。
17	説明ありがとうございました。新庁舎は必須と思います。本庁舎の再整備については、市民負担を可能な限り避ける形で、深沢新庁舎を早期に進めて頂ければと思います。	市民負担を抑えつつ、早期に進めたいと考えます。

【令和７年（2025 年）８月 23 日（鎌倉商工会議所）開催分】　参加者 50 名

No.	質問	回答内容
1	本提案をもって、現在地の跡地利用計画は、白紙撤回されたと考えますが、そのような理解でよろしいでしょうか？	現在地の利活用の計画が白紙撤回されたということではありません。先ほど（説明の中で）申し上げたように、市庁舎現在地利活用基本計画では、中央図書館や生涯学習センターを含めた「ふみくら」というビジョンを掲げており、これらを現在地の利活用計画に組み込んでいます。市民の皆さんの活動の場については、本庁舎が現在地に残ることになっても変更はありません。
2	通常決議で決められる内容と、特別決議でないと決められない内容を教えてください。	市役所の本庁舎の位置を定める条例は特別多数議決が必要で、（市議会の出席議員の）３分の２以上の同意が求められます。その他にも、特別多数議決の例として４分の３以上や５分の４以上が必要な場合があります。例えば、議員の除名処分や、市長の不信任決議は４分の３以上の同意が必要となります。また、議会の解散については５分の４以上の同意が必要となります。これらは地方自治法等で定められており、通常の事項は過半数の同意で可決されますが、一部このような重要な案件については特別な手続が必要となります。
3	今回の提案で現在の市役所位置を利用する事になり、過去に行った基本計画にもとづく調査やコンペが無駄になる。この損失はどう対処、補てんするのか？	これまで行ってきた調査が全て無駄になるわけではありません。これまでの現在地の活用の検討は、調査に基づいて行ってきました。そのため、本庁舎が現在地に残る形になるとしても、多少の変更が生じることがありますが、無駄になるわけではなく、今後もこれまでの調査結果を踏まえて検討していきます。
4	地方自治法第 155 条で支所や出張所は管轄する地域が限定されるとあるが、深沢庁舎にはこの規定はあてはまらない気がします。職員の 8 割が異動する分庁舎を 170 億円もかけて建設することは違法ではないですか。地方自治法第 155 条にからめて見解をお聞かせ下さい。また、総務省は位置条例の策定がな違和感がないと述べたそうですが。	地方自治法第 155 条については、支所や出張所をどのように規定するかを定めるものとなります。深沢に庁舎を新しく作り、多くの職員がそこで業務を行うことについては、違法になるとは考えておりません。位置条例の改正に関する見解を総務省に相談した結果、市の新しい案について、「大きな違和感はない」というのが総務省の見解でした。 また、補足になりますが、約 170 億円という額は消防施設や図書館、学習センターも含めた整備費の総額となります。当時、新庁舎部分である約２万㎡については、面積按分で算出すると約 140 億円となります。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
5	これまで市は、長寿命化・現在地での建て替えについては、議論の上でとらなかったといって、移転条例否決後も、議論することすら拒否されてきたと思います。しかし、議論になかった二分割案を突然提案された訳ですから、きちんと、長寿命化・現在地での建て替えも含めて、議論に載せる条件はそろったと考えますがいかがでしょうか？	本庁舎について、現在の庁舎を長寿命化するのか、新しく建て替えるのかについては、まだ結論が出しておりません。現在検討している案についてですが、市役所の現在地に、中央図書館と鎌倉生涯学習センターを作る計画があります。この計画の実施にあたり、今の庁舎を長寿命化するのか、新しく建て直すのか、どちらにするにしても、今後もご意見を伺いながら進めていきたいと考えております。
6	現庁舎敷地内の分庁舎を改築して新たにまとまった建物として第二庁舎とすることで、議会と行政の機能を確保するのが良いのでは。 また都市計画を変更すれば、それで全部解決するのではないか。	市役所を現在地で建て替えるべきか、それとも移転するべきかについて、平成 28 年（2016 年）頃から調査や議論を始めました。その結果、現在の市役所敷地内に建てられる建物の床面積は、現在の建物を残して増築した場合でも、（現在の建物の床面積とあわせて）おおよそ１万 4000 ㎡程度となります。しかし、実際に市役所として必要な面積は２万 3000 ㎡から２万 5000 ㎡であり、少なくとも２万㎡は必要としています。現在の敷地では必要な面積を確保できないといった制約などから、移転するという選択をしたものとなります。 都市計画を変更するということは確かに可能ですが、都市計画は敷地単位で決めるものではなく、駅を中心とした商業地域、住宅地など、複層的に考慮されるものとなります。都市計画の決定には上位計画が存在し、それに基づいて決めていくものになります。また、都市計画は長年にわたって議論してきたもので、例えば高さ規制や風致地区は何十年もの時間をかけて議論され、決定し、運用されてきたものです。変更するには、相当な議論が必要となり、長い時間が必要となります。こうしたことも踏まえ、都市計画を変更するのではなく、移転して整備するという選択をしたというのが、これまでの検討の経過となります。
7	災害などのリスク管理、対応には行政を分散させ、そこでできる業務を充実、拡充することが重要と思う。そこで深沢に新設、集中よりも各行政センターの充実，拡大がベストではないか。深沢よりも行政センターの方が利便性も優れていると思います	今回、鎌倉地域、深沢地域に二つ庁舎ができ、どちらも災害に強い建物となることによって、リスク分散も可能になると考えています。そういう意味では、災害に強いまちづくりにも寄与できるものになると考えております。
8	地方自治法第 155 条との整合性を聞きたい。管轄のない支所や分庁舎を 170 億円もかけて造るのは違法ではないですか。総務省は何と言っているかお聞かせ下さい。	違法であるという認識は持っておりません。 （総務省の見解については NO.4 の回答を参照してください）
9	この方法を自由闊達な議論が阻害されるためやめることを提案します	ご意見として承ります。
10	二つに庁舎が分かれてしまい不便で仕方ないとして将来一つにまとめることはないのですか。	従前の案では一か所にまとめるということを予定していたため、それに比べるとデメリットとして市民や職員が不便になる点はあります。 ただ、現実として、移転に必要な市議会での３分の２以上の同意を得られていない状況においては、このようなデメリットはあるものの、一刻も早く災害に強い庁舎を実現していくということが、今の鎌倉にとって何よりも重要だと考え進めています。
11	現在の市役所の場所は、高さが無く津波が来てしまうと言われてますが、移転先は問題ないでしょうか？	現在の市役所の場所については、一部が津波の浸水想定区域となっています。深沢については、津波の河川の遡上について指摘されることがありますが、新庁舎の敷地については、そのような（県による津波の浸水想定は）指定はされておりません。
12	総務省が位置条例の策定なしに二つ庁舎を造ることには違和感がないとの見解を伝えたと聞くが真意はそうなのか。違法性はないと言い切っていないと考える。今後裁判等になると考えるが見解をお聞かせ下さい。	総務省に本庁舎の定義がないというのが現状です。市としては本庁舎の定義を求めましたが、示されない状況の中においては、これであったら 100%大丈夫という答えはいただけていない状況です。総務省からは市の案に対して違和感がないとの見解を示していただいた時に、あわせて過去の裁判例が一つの参考になるとの助言をもらっています。今後、裁判等になる可能性はもちろん考えられますが、過去の裁判例及び総務省の見解を踏まえ、違法となることはないと考えております。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
13	今回の案で、市長・市議会に予定していたスペースは、どうするのですか？市長・市議会としても活用可能なスペースとするならば、二分割の不便さを実感させて、全面移転するための策略としか思えません。市長・市議会に予定していたスペースをどうするのか、これから検討しますではなく、今、明確に応えていただきたい。	今回の案において、市長の場所（市長室）については、まだ詳細が確定しておらず、具体的にどのように作るかは決まっていない状況です。一方、市議会については、従来の新庁舎案では、５階に配置する計画でした。したがって、市議会のスペースはそのまま使わなくなるということになります。そのスペースをどのようにするかについては、現在考えている可能性は二つあります。一つは、そのまま５階建てを４階建てにすること、もう一つは、５階の部分を市民の皆さんのニーズに合わせて活用することです。現段階では、５階のスペースをそのまま市議会にすることは考えていません。
14	新庁舎は、一度建つと何十年も使うことになるので、今の若い人たちから話を聞いた方が良いと思うが、若い人の意見は聞かれていますか？	本庁舎をどうするか検討を始める際に、若い人たちの意見も取り入れるべきということで、高校生などにも参加していただき、ワークショップを開催しました。もちろん、すべての若い人の意見を聞くということは難しい部分もありますが、そのような前提の中で特徴的な意見を紹介しますと、若い人たちの居場所がほしいといった意見がありました。 また、現状の本庁舎の場所は、職員の事務所として使用しているため、土日は建物の電気が消え真っ暗になっていて、本当にもったいないという意見や、そのような場所を居場所として活用し、明るい場所にしていきたい、といった未来に向けた意見が強く出ていたところです。これらの意見はワークショップに参加されていた若い人たちだけでなく、他の参加者も賛同していたことが、当時のワークショップの中では非常に大きなポイントであったと考えています。
15	大規模地震が発生した場合に、必要となる市職員の業務を簡単に紹介していただき、市庁舎が使用できなくなった場合のデメリットについて教えてください。	市役所の職員がどのような仕事をするかについてですが、災害の状況や発生している内容に合わせて対応していくことになるため、これだけという説明は難しいです。 例えば先日、津波警報が出された際の対応をご紹介しますと、このときは多数の帰宅困難者への対応のほか、市民の皆さんの避難が求められました。まず、市役所の使える部分を開放し、避難していただきました。そして、市の職員は、避難してきた方々を誘導し、水や食料の配布、椅子の設置などを率先して行いました。その後、帰宅困難者を（当時も動いていた）湘南モノレールの湘南深沢駅まで送るといった対応を行いました。こういった対応はマニュアルがあるわけではなく、災害の状況に応じて困っている方々に最大限の対応をすることが、市職員の責務であると考えています。 なお、大きな地震が来たときには、市役所の中に入れなくなった場合、（市民の支援を行うための）データ等が取り出せなくなることや、帰宅困難者や避難者の受け入れもできなくなる可能性があるということなどが、直近のデメリットとしても考えられます。
16	先日の津波警報があった時の、住民、観光客等の避難場所の少ないことが本当によくわかりました。分散して庁舎を設置するのは、進めた方が良いと考えます。自分の子供達が、安心して住める、楽しめて観光に来られる鎌倉であって欲しい。	ご意見として承ります。
17	移転により、オンライン窓口が増えると思うが、IT 弱者の高齢者が取り残されない仕組みを導入してもらえるか？	高齢者の方々のご不安は認識しています。オンラインでできる手続が増えたからといって、全てがオンラインになるわけではありません。オンライン対応が難しい方々のために、今の窓口と同じような形も残していきたいと考えていますので、ご安心いただければと思います。
18	げ災害時の体制について伺います。災害時には深沢新庁舎が司令塔となると思いますが、御成本庁舎や 5 つの行政センターも地域の防災拠点となるのでしょうか？	基本的には市役所、それから支所という流れで災害に対応していくものとなります。市民の皆さんが本当に困ったときに頼れる場所として、しっかりと機能するように、災害発生時の対応についての体制を整えてまいります。
19	建設コストが年々上がっており、移転反対が無ければ、もっと安くて早くできていたという状況かと思いますが、老朽化による立て直しは避けられないので、少しでも早くやるべきかと思いますが、財政的にはどうでしょうか？	建設コストは確実に上がっており、これからも上がり続ける状況で、安くなるのかというと、様々な専門家や業界の方々に話を聞いてもそうではないとの意見が多いため、なるべく早く実施することが重要であると考えています。現実として現在もコストが高くなっていますので、それに合わせて財政計画も変更する必要があると考えています。財政的な面での懸念についてですが、現在の鎌倉市の状況を踏まえると、新庁舎の全ての建築費を一度に支払うことはできませんので、借金（市債を発行）して進めることになります。鎌倉市の借金の状況は、かつては 400 億円（平成 22 年度（2010 年度）末時点で 43,572,043 千円）を超えていましたが、現在は 300 億円（令和６年度（2024 年度）末時点で 26,434,231 千円）を切っており、神奈川県内で最も負担率が低く、一番身軽である自治体であると言えます。そのため、今後、もちろん借金をすることで負担率は増えていきますが、財政破綻することのないよう　、しっかりとした財政計画を立てて進めていきたいと考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
20	分割するなら、分割先を深沢に限らず野村の跡地なども候補に上がらないのか？	分庁舎の整備場所として様々な場所が候補になるというご意見は理解できますが、今の考え方の中では、いたずらに候補地を増やすことは考えておりません。
21	現在地での建て替えについて、現庁舎が建っている場所については、地下の埋蔵物はそもそも破壊？されているので、新たに埋蔵物の調査は必要ないのではないですか？また、現庁舎と同程度の 20m 程度での建て替えであれば理解が得やすいのではないですか？	現庁舎の建っている場所で既に地下を掘削している範囲については、（掘削等伴わない工事の場合には）新たな埋蔵文化財の調査は必要ないと考えています。しかしながら、それ以外の例えば駐車場などの場所は、まだ発掘調査が行われていない部分です。そのため、そういった場所では発掘調査が必要になる場合があります。 また、現庁舎と同程度の高さの建て替えであれば、市民の皆さんのご理解を得やすいとのご指摘も、そのとおりだと認識しています。ただし、新たに建て替えを行う際には、市民の皆さんと同様の規制やルールに基づいて進める必要があると考えており、これらのルールの中で検討を進めているものです。
22	現在の建物のも、永久に使えるものではないはずです。他の方の質問にありましたが、市長室や議会などの現本庁舎もいずれは改築する必要になってきます。その時のことも考えて、鎌倉に来られる方が使えるようにしておいてはいいのではないですか。	今回の新しい案において、鎌倉の庁舎の場所の議会を現状のまま使い続けるわけではないという点はご理解いただきたいと思います。今の議場の天井は特定天井と呼ばれるもので耐震性に課題があります。このような解決していかなければならない問題を含んでいますので、今の本庁舎の建物をそのまま使うのか、それとも新しくするのかは、今後の条件を考慮して判断していく形になります。いずれにしても、何もせずに使い続けるのは、災害が発生した場合に業務継続が困難になる可能性があるため、このままにしておくことは適切ではないと考えています。
23	市役所か遠い近いではなく、そもそもの市役所に行かなくて済むようにしてもらいたいです。手続きについてはほとんど全てオンライン化が可能と思いますが、窓口での相談もオンライン化を考えているでしょうか？	オンラインでできる手続については、順次オンラインに置き換えていき、市役所に来る必要がないよう実現していきます。ただし、100%オンラインに置き換えるわけではなく、オンラインが利用できない方に対しては、対面での相談や手続ができる窓口も残していきます。
24	2 拠点というのは、いくら丁寧な説明をしても、無責任に反対を唱える人（議員）がゼロにならないので、仕方の無いことだと思いますが、効率的にはどうなんでしょうか？	反対する議員がゼロになるかはわかりませんが、議員の皆さんにご理解いただき、賛成いただけるよう、諦めることなく努めていきたいと考えています。 また、効率性についてですが、市長と職員が距離的に離れた場所にいることでコミュニケーションが取りにくくなるというデメリットを申し上げました。効率性の面では全員が同じ場所にいるほうが良いかもしれませんが、二拠点で仕事をしていくことを想定し、オンラインなどのツールを活用することでこの問題は解決できると考えています。また、現状、私（市長）自身も常に本庁舎や市長室にいるわけではなく、現状も様々な場所にいて、様々なツールを使いながらコミュニケーションをとれておりますので、その点問題はないと考えています。
25	新しい案の建設費用は、元の案と比べて、増えますか？	消防本部等と合わせて従前の計画で約 170 億円とお示ししております。この約 170 億円は、近年の物価上昇を反映していない数字ですので、増えることが見込まれています。しかし、新しい案による変更によって大幅に建設費用が増えるということはありません。仮定の話にはなりますが、５階建てを４階建てに減らすことがあれば、費用を若干抑えられる可能性もあります。
26	新駅は 2032 年.開業、新庁舎は 2033 年完成の予定と思いますが、深沢再開発全体（市、民間）の完了は、いつ頃とされているのでしょうか？	現在進めている深沢のまちづくりについて、鎌倉市が約３割弱の土地を所有しており、約６割弱についてはＪＲ東日本が所有しています。 まちづくり全体を一気に進めることは現時点では考えておらず、徐々にまちができていくという方針で進めています。もちろん全体構想は描いておりますが、一気に進めすぎると時代に合わなくなるということもあり、そういう意味で、この時までに完了というのは決めておりません。この 10 年ぐらいの間にまちが徐々にできあがっていくことになります。
27	もし、大地震が発生した時、現庁舎は避難場所として、あるいは備蓄倉庫しての役割を果たしますか？	現在の本庁舎は（大地震発生時の）避難場所としては適していません。東日本大震災の際には、震度４の揺れがありましたが、このとき市の職員や庁舎内にいた市民の皆さんに安全確認が完了するまで外に出ていただく必要がありました。このような状況では、避難場所としては適しておりません。備蓄倉庫としての役割についても、同様に現状では果たせない状態です。
28	「資料の置いてある席にお座り下さい」と案内されましたが、あるのはアンケート QR コードだけで、資料とは言えません。プレゼンの資料とかを参加者に配布する程度のことはするのが当然のことではありませんか？	説明不足で失礼しました。資料の配布はしておらず、市ホームページに公開しておりますのでご覧ください。 【本日の資料】 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/202508setsumeikai.html
29	現庁舎は御成中学校を移転させ建設されています。その時も反対運動はあったのでしょうか？	当時、鎌倉駅東口側にありました庁舎が火事によって使用できなくなったことから、新しい庁舎の建設場所を検討する中で、現在の場所が選ばれるまでの過程において様々な議論があったと認識しています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
30	先日の津波のこともあり、早く実現していただきたいと思います。新しい庁舎での業務はいつから開始の計画ですか？	令和 15 年（2033 年）の開設を予定しています。
31	私は、本庁舎がどこにあっても、窓口が支所にあれば、住民生活に不便はないと感じますが、市長室と議会を残すのは、反対する人達の希望に沿う形という理由からですか？	賛成、反対かということだけでこの問題を捉えていただきたくないという思いがありますが、３分の２以上の同意が得られない状況の中で、今回、新たな案を検討したものになります。この２年半、条例が否決されたという中で、反対の意見も含めて様々な意見をお聞きしました。その中で、地域による分断というか、深沢は鎌倉のはずれ、鎌倉が鎌倉時代からの中心といった場所についての様々な意見をいただきました。確かに、鎌倉の 800 年の歴史を考える中においては、鶴岡八幡宮があるこの地域が鎌倉の中心であるということは歴史的にも間違いない事実であります。そのことをないがしろにするつもりは全くありませんが、そのように受け止められ、移転について厳しいご意見や反対のお声もたくさんいただきました。 そのような中において、今回の案は、本庁舎を鎌倉の今の場所に残すものです。これにより、鎌倉全体のエリアによる意識の分断を解消し、鎌倉全体として市民サービスが行われ、災害に強いまちをつくっていくことに、ぜひご理解いただければと考えています。
32	未来の世代のために今タネをまく、意義のある計画と思います。学生など将来この施設を使うことになる世代の意見はいれこまれているのでしょうか？	（NO.14 の回答を参照してください。）
33	深沢の庁舎新設、現庁舎の再整備の、おおよそ費用は、どのように生み出していくのか詳しく教えて欲しい。何においても物価上昇しているので、どのようになっているのでしょうか？	現在、深沢の新庁舎等に関しては約 170 億円という予算を見込んでいます。今後の物価上昇を考慮しながら、基本設計を進めていく中で、詳細を決定し、その過程で整備費用が算出される予定です。その費用をどのように生み出していくかというご質問に関してですが、一部は既に基金を積み立てており、不足分については一般財源と市債（借金）でまかなう計画です。ただし、市債を使用すると将来世代への負担を懸念される方もいらっしゃるかと思います。公共施設の整備には、世代間の公平性を考慮し、将来の利用者にも一定の負担をお願いすることで、市債の使用が一定の程度認められています。その市債を活用して負担を平準化していきたいと考えています。 また、公共施設の再編等に使える補助金はあまり多くありませんが、可能な限り国や県の補助を活用していきたいと考えています。
34	現在の市役所の近くに住む者ですが、何度か説明会で反対の人達を見ましたが、お年寄りばかりで、なおかつ、未来のことを考えない発言ばかりで呆れています。もっと未来ある人達の意見を聞いていただきたいですが、何か良いお考えはありますか？	こうした意見を伺うと少し心が痛みます。高齢者の方々が皆このような意見を持っているわけではなく、逆に若い人たちの中にも同様の意見を持っている方もいらっしゃると考えています。また、高齢の方の中でも若い世代のために早くこの事業を進めてほしいと切実に訴える方もいますので、高齢だからこうだとか、若いからこうだといったレッテル貼りは避けていただきたいと思っています。
35	より多くの方が受け入れやすい案になったかと思います。市長と関係者のみなさまの知恵が素晴らしいです。議員の方々の反応はいかがですか？	様々な受け止め方がありますが、具体的に申し上げることは控えさせていただきます。
36	今回の案は、反対派の人達にも納得いただける折衷案として、とても良いと思います。ただ気になるのは、移転により今の市役所の近くに住んでいる住民は、不便にならないのでしょうか？	繰り返しお伝えしていますが、手続ができる窓口が遠くなると考える方がいらっしゃるかもしれませんが、決してそのようなことはありません。住民の皆さんが不便にならないよう、（深沢の新庁舎にも鎌倉の本庁舎にも）窓口を設置いたします。
37	深沢庁舎の職員が、市長や副市長などに報告をする場合や決裁を受ける場合は、どのように行う予定ですか？	職員から報告の方法として、基本的には二つの方法があります。まず、実際に対面で説明を受ける場合と、オンラインで受ける場合です。決裁については、現在、電子決裁という形で行っており、私（市長）自身が判子を押すという行為はありません。そのため、わからないことがあれば、電話で細かいところを確認することもあります。決裁の前に意見交換や議論をすることもありますが、内容に応じて、オンライン会議、電話、もしくは対面での会議を選択していくことになると考えています。
38	現在の市庁舎を修繕しながら使うにしても、限界はあるかと思います。それは何年くらいでしょう？	現在の庁舎は、今も十分に使用できており、今すぐに問題があるわけではありませんが、既に築 56 年が経過しており、コンクリートの状態などを点検している中で、爆裂や鉄筋の錆が発生している箇所が徐々に見られるようになっています。したがって、今後もずっと使用し続ける建物ではないと考えています。 また、機能面でもこのまま使い続けられるかという点でも判断が必要となると考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
39	現市庁舎の敷地は、津波浸水想定と土砂災害特別警戒区域に指定されている。事業の一番の目的は「災害に強いまちにしていく」とあるが、議会が位置条例を否決した理由は、これらの事業目的よりも、鎌倉の歴史的な文脈を優先するべきと判断した、と理解してよいか。	議会が位置条例の改正を否決した理由は様々あり、決して一つの理由ではないことはご理解いただければと思います。
40	住民投票はしないのですか？	住民投票を行う予定はありません。いろいろな考え方がありますが、移転について賛成か反対かを問い、賛成か反対かが決まったからといって、災害に強いまちづくりをしていくことや、公共施設の再編やインフラのマネジメントをしていくといった様々な課題が解決するわけではありません。様々なことが関連していることからすると、単一の論点をワンイシューで問うということでは解決しないと考えており、住民投票で決するものではないと考えています。
41	災害発生した場合、自衛隊やボランティアの受け入れをして復興にあたる必要があり、今の市役所では職員の執務室すら足りない状況で、早々に深沢に移転すべきと考えるが、防災の観点では、深沢の機能はどのような活用が考えられていますか？	災害が発生した際には一斉に多くの支援機関に来ていただくことが考えられますので、一か所に集まりコミュニケーションを取りながら迅速に対応することができる受援力がある場が必要であると考えています。様々な被災地を視察する中で、例えば、熱海の土砂災害に関して、熱海市役所を訪問した際にそうしたお話を伺い、手狭であることによってコミュニケーションが取りにくくなるという課題があったと聞きました。新しい庁舎を作る際には、こうした状況をしっかり想定し、災害時に対応できるようにしていきたいと考えています。
42	未来の世代のために今タネをまく、意義のある計画と思います。学生など将来この施設を使うことになる世代の意見はいれこまれているのでしょうか？	（NO.14 の回答を参照してください。）
43	厳しさを増す自然環境にそなえ、また、建設費の高騰が加速することも考慮すると早急に実現すべきと感じました。このまま進めると思うのですが、実現にむけて、まだ何かハードルはあるのですか？	もちろん様々なハードルがあります。計画を進めるための予算を可決いただくためには議会の過半数の同意を得る必要がありますから、実現するためにしっかりとご理解をいただきながら、進めていきたいと考えています。
44	埋蔵文化財が今の市庁舎の下にあるのかの調査や建物と高さ制限については、市庁舎につては特例等改めて議論してはいかがでしょかうか	現時点では新たに議論を行う予定はありません。しかし、市民の皆さんがどの部分を理解しづらいと感じているのかについては、丁寧に受け止めていきたいと考えています。
45	反対派の人達は、今の庁舎を長く使いたい様なので、そうすると、反対派の人達のせいで、現在地を建て直してのホールや図書館は作られないということでしょうか？ これでは、反対派の人達のせいで、我々鎌倉中心部に住んでいる住民は割を食うということでしょうか？	鎌倉生涯学習センターや中央図書館の機能を現在の本庁舎の場所に移していくという考えに変更ありません。そのため、これらの施設を楽しみに、または期待していただいている方々に対してマイナスとなるということはないと考えています。
46	鎌倉本庁舎は耐震性に課題があるので、新しい案でも鎌倉本庁舎は新築すべきと思いますが、新築または大規模改修のどちらで考えていますか。	現時点では結論を出しておりません。今後、検討していきます。
47	今回、この見直し案を掲げて、次の市長選に出て当選されたら、進めることに問題がないと考えますが、その場合でも、反対している市議は反対し続けるのでしょうか？ であれば、反対している議員が市長選に対抗馬として出て、民意をとえば良いと思うのですが？	一つの考え方として受け止めます。このようなタイミングの中での市長選挙は大変大事ものとなりますので、その中でどのように議論していくか、より多くの市民の皆さんにご理解を深めていただく機会にすべきだと考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
48	現在地を本庁舎として残し、しかし、現在地跡地利用計画は白紙撤回しないという説明でしたが、現在地の本庁舎の建て替えでも、民間活力の導入するのですか？	「ひらいて　むすんで　知恵うむ　“ふみくら”」というビジョンに基づき、現在の本庁舎の場所に中央図書館や鎌倉生涯学習センターなどの機能を取り入れ、市民の皆さんの活動の中心となるような利活用の基本計画を策定しました。公共施設部分のほか余剰面積が生じると見込んでおり、民間に貸し出すことによって財源を生み出したり、より魅力のある場所にしたりするということを計画の中で示しています。
49	良く移転はコストがかかると言いますが、移転建て替え案と現状市庁舎を利用し続ける案の比較は、既存の市庁舎を限界として建て替える時点(例えば 20 年後等)での整備費、つまり今移転整備し 20 年間維持管理する費用と、現庁舎を延命化し 20 年後に建て替える費用との比較が必要と考えますがどうでしょうか。	20 年という具体的な期間での比較は行っておりませんが、現状の市庁舎を使用し続けることと、新しく市庁舎を建設することの比較では、使い続ける方が費用負担の高くなる結果が調査により示されています。
50	新庁舎は提案していたものより縮小したものになるのでしょうか？それともこれまでの建物の大きさと変わらず行政の機能部分を縮小して図書館を広げたり、別の使う部分が広くなると考えるのでしょうか？現在の庁舎と新庁舎の二分割にする事で運営費用が高くなるように思えるのですがどうでしょうか？	５階部分について縮小するか、あるいは他の機能で活用するかについては、今後議論していきます。 また、二分割にすることで運営費用が高くなるのではないかというご指摘ですが、市民サービスの窓口機能や、観光や文化財の部署が鎌倉の庁舎にあるべきだという考え方もあり、一部の職員がそちらに配置されることを想定しています。どちらの庁舎にも市役所に必要なセキュリティ関係のコストがかかりますが、基本的に二分割にすることにより費用が著しく増加するということはないと考えています。
51	元々の計画から何年も遅れることにより、物価高騰、検討費用等、膨大な費用がかさみ、反対する人達は自分たちの責任を棚に上げてまた、費用が費用がと騒ぎ立てると思いますが、やらなければならない政策なので、これ以上検討しても時間と費用の浪費をするだけであり、今回の計画で決着して、前に進めることはできるのでしょうか？	やらなければならない政策であることをご理解いただきたいと思います。現在の本庁舎は直ちに使用できなくなるではありませんが、大きな地震が発生した際には、そのまま使用し続けることが難しくなります。このような事態が起きた場合、市民の皆さんには大きなご迷惑をおかけすることになります。これは、東日本大震災や熊本地震で被災された方々からいただいたメッセージでもあり、現実を見ても、対処すべき課題であると認識しています。現在何とか使用できているように見えるかもしれませんが、いざというときには大きな問題となる可能性があります。したがって、本計画は本当にやらなければならないものであることを、ぜひご理解いただきたいと思います。
52	同じ建築物を現敷地で建て替えるのは、新しい地域に建て替えるより遥かにコストがかかるのは常識では。	敷地や建築物の条件にもよりますが、一般的にはご指摘のとおりと考えています。
53	日本国内では、50 年以上経過した建物の 7 割以上は建て替えられているのですが､50 年以上経過した元々耐震が弱い建物を強くする経済合理性はあるのでしょうか？ 無いから一般的に立て替えられていると思うのですが？	経済合理性という観点から言えば、そうした視点になることは理解できます。ただし、鎌倉の歴史的な町という側面も考慮すると、経済合理性だけでなく、市民の皆さんの思いや、過去の経緯も大切にしなければならないという点があります。 本庁舎については、建て替えるかどうかはまだ結論が出ていませんが、決して経済合理性だけに基づいて決めるのではなく、過去からの経緯を含め、結論を出していきたいと考えています。
54	分散化すれば災害に強いということですが、市民の利用の観点からすると、1 箇所に行けばすべてできるほうが便宜かと思います。窓口は深沢庁舎に集約できるのでしょうか。	現在の本庁舎においても、例えば、本庁舎１階の「くらしと福祉の相談窓口」を設置し、ワンストップで相談を受け付けられる体制を整えています。また、第６分庁舎１階の「きらきら」窓口では、こどもが生まれる前から中学校卒業までの相談を受け付けており、必要に応じて他部署の職員がオンラインでの対応や、手続もできるため、ワンストップで手続や相談ができるということを実践しています。新しく作る庁舎も、当然、市民の皆さんの目線に立った形で不便がないように、ワンストップで手続が済むようなものを目指していますので、決して二つの庁舎となることによるデメリットが発生しないように考えています。
55	分散化により職員などの分断で非効率になるというには現時点で考えた場合の話。コロナ禍以降、対面の機会はは劇的に減っており、今後 10-20 年後を見据えれば全然非効率になることはないと思う。	ご意見のとおり、オンライン会議でできることが多くあると考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
56	鎌倉市内どこも完全に安全なところはなかなかないのではありませんか？どの自治体も、この場所がいいと思って新庁舎を建てても、今や予想がつかない災害があると思う。新しい場所で、環境を整えて欲しいです。	確かに 100%安全という場所があれば、それが一番わかりやすいかもしれません。しかし、鎌倉にはそのような場所がないのはご指摘のとおりで、そのような状況の中、どのような結論を導き出すべきかについて、議論を深めていく必要があると考えています。
57	深沢ですが、反対されている方は、地盤が不安定と仰っているようですが、現在の建築技術なら港区の海だったところにタワーマンションが建つくらいだし、既に大船、玉縄辺りにも沢山マンションがあり、深沢は特に問題ないように思えるのですが、いかがでしょうか？	他の場所でできていることをもって安全だと判断するのではなく、地盤調査も行い、科学的に安全であるということが確保できる形で整備していきたいと考えています。
58	長く大船に住んでいますが、本庁舎に行く用がなく、手続きは全て支所で全て済ませられてきたので、窓口サービスがしっかりしていれば、市役所なんてどこにあっても利便性は変わらないように思うのですが、実際、どうなんでしょうか？	多くの市民の皆さんにとっては、ご指摘のとおりであると思います。 もちろん、市役所に来られる理由は、市民の皆さんそれぞれに異なるため、100%そうであるとは言い切れませんが、多くの市民の皆さんにとっては、利便性が悪くなることはないと考えています。
59	市長が鎌倉駅の近くの本庁舎にいなくてどうするんだ！と言っている移転反対の人がいますが、災害時に市長が本庁舎にいないと、災害対応ができないのでしょうか？	市長が庁舎にいなければ災害対応ができないということはありません。いつどこにいる時に災害が発生するかは予測できませんので、２人の副市長を含めて３人同時にいなくなるということが無いようにしておりますし、仮にその３人がいなかった場合にも、市長、副市長、部長、課長のそれぞれが、しっかり災害対応できるよう、日頃からシミュレーションを行っていますので、ご安心いただければと思います。
60	移転に反対する一部の議員の方々は、“市民のため”と言われていますが、結果的に災害対策や行政サービスの効率化が遅れることになれば、それこそ市民に不利益を与えることになると思います。市長としては、市民にとって本当に責任ある判断とは何だとお考えでしょうか？	市民のためというのは非常に漠然とした話になりますが、本当に責任ある判断とは、未来に起こりうるリスクから逃げずにしっかり想定し、リスクを解消できるように、事前に手を打つことが市民の皆さんの命や安全、生活を守っていくことになると考えています。
61	市役所は今の場所で構わないので、図書館や市民スペースなど普段使いできる物を深沢に公共物として作って欲しい。	図書館や市民スペースは深沢の新庁舎内にも、今の本庁舎の場所にもつくることを計画しています。これまで市庁舎現在地は単なる職員の事務所と議会しかありませんでしたが、二つの拠点に市民の皆さんが活動できる場、集まれる場ができるということは、鎌倉市にとって大きな価値になるものと考えています。
62	「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画プラン 1.0」の冒頭でも「分庁舎の建設や一部執務室の敷地外への移転など業務の非効率化が見られるとともに市民の利用にも支障をきたしています。」と述べられているように、分散した事務所機能に問題があると思うが、スムーズに業務を遂行できる見通しはあるか。新敷地に集約するのが最善ではないか。	分散化によって非効率となるというところはあり、今回の案ではそれがデメリットの一つであることは受け止めています。しかし、100%ではないかもしれませんが、テクノロジーの進化によってこれらの課題に対処できると考えています。 市民の皆さんにとっての支障という点では、現状の相談の内容が聞かれてしまうといったプライバシー確保の課題や、バリアフリーへの対応が不十分な点については、今回の案で解消できると考えています。
63	市庁舎の分散の説明がありますが、深沢に新庁舎を建設するよりも，今の各行政センターの業務内容、職員の拡充，建物の拡張で十分対応できるのではないか。鎌倉市	現状の行政センターには十分なスペースがないため、対応は難しいと考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	民にとって行き来するだけでも深沢よりも各行政センターの方が利便性がかなりいいと思う。	
64	建築計画の面積は小さくしないで、余裕を持った方がいいと思う。建築予算は減らさないとダメなのでしょうか？	費用負担と市民の皆さんの活動で利用できるニーズとのバランスになると考えています。予算には限りがあるため、面積を広げることは難しいですが、従前の計画の庁舎の大きさを縮小するのではなく、市民の皆さんの活動に十分に対応できるように余裕を持った形で整備するということも必要であると考えています。
65	まず、2 拠点整備案には反対です。非効率で無駄が多く、あらゆる面で負担の増加が避けられないと思います。現行案で、市長選で市民の信を問うべきだと思います。その際に、私が知りたいことは、新庁舎建設による将来の財政負担の問題です。建設負担が重荷になって、市の財政が立ち行かなくなっては困ります。この点をしっかり説明してください。	現行案で市民の信を問うべきというご意見については、ご意見として承ります。 将来的な財政負担については、財政が破綻するようなことがないよう、進めていきます。補足として、財政負担を考える際には、市全体の借金がどのくらいか、市債を返済していくうえで単年度の負担がどうかという二つの視点でチェックします。現状としては、市役所を建て替える計画を進めたところで、市債の量が非常に多くなって財政破綻するということは全くなく、健全な数値を保てると捉えています。また、単年度負担についても、予算が組めないことがないようチェックをしています。
66	村岡新駅が完成した時、駅から新庁舎への道路整備の費用は鎌倉市負担ですか？金額はどのくらいですか？新庁舎建設費用にすでに含まれていて公開されていますか？	新駅から新庁舎までの道路整備のうち、新駅(駅前広場)から柏尾川までの道路は藤沢市が整備(負担)します。道路のうち、柏尾川にかかる橋の部分（橋の新設含む）は鎌倉市が整備(負担)することになっており、約 15 億円の費用を見込んでいますが、うち 50%は国からの補助金が入る予定となっています。橋の部分から新庁舎までの道路の整備については、深沢の約 31 ヘクタールの土地区画整理事業として実施することとしており、土地区画整理事業の費用として計上しています（新庁舎建設費用には計上していません)。
67	焦って、妥協策に走って、作ったもの。 後生に残すものとして良いものが出来るとは到底考えられません。何を焦っているのでしょう。今は最低限の事だけ行い、もっともっと議論してからで良いと思うのです。やはり焦らない冷静さに尽きると考えます。 災害への強さは、人の地の利人の和、繋がりと考えます。ネットや機械で市役所へ行かなくても良い。というような庁舎は、それらからどんどん離れていくと考えます。 市長選が視野にあるのでしょうか。この市役所移転計画の密でズルい部分、段取りの悪さ現在、松尾さんは家長。この賛成反対は、見方によっては争い事。飛耳長目に収める立場でなければ、ならないのだけれども、ご自身で争いの目を作ってしまっております。 世界で同じようなことが、起きています。戦争がなくならない理由。全世界の中に必要な絶対的な「王座」不在です。ご自覚して戴くと有難いです。 クリーンセンターは必要。鎌倉市民のゴミ、観光客のゴミ、鎌倉の消費、潤いだけ懐にして、ゴミを他市に処分してもらうのは、道理が違うと考えます。	急ぎ進める理由としては、このままでは大きな地震が発生した際、市民の皆さんの安全と安心を守ることが難しくなる可能性があるためです。 また、賛成、反対という分断を起こしてしまったというのは、私（市長）の責任であると思っています。しかしながら、これを何とかしてほしいという指摘もありますが、本当に平和を求めていくことは、こうした分断を避けるということではなくて、分断が起きたときに、どういう答えを皆さんと一緒に出していくかが、今の世界に求められている大きなポイントだと考えています。 市民の皆さんの意見が二分してしまった状況が生まれてしまいましたが、そういう皆さんの想いを一つにして、これから先、鎌倉が 50 年、100 年にわたって市民の皆さんが安全、安心だと感じていただけるように、未来に向けてこの計画を作っていかなければいけないと考え、今回のこの説明をさせていただいています。決して私利私欲のためだとか、利権のためだとか、そのような小さなことで、この事業や市長という立場を預からせていただいていません。市民の皆さんの安全、安心のために、そしてこの分断を乗り越えて市民の皆さんが一つになれるように、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
68	３年前に鎌倉市に来た者ですが、行政や議員との間で市役所の建て替えや長寿命化についての議論に参加しようとしたが、決定済みとして意見を聞いてもらえなかった。しかし、最近、議論の流れが変わり、「二分割案」が唐突に出されることになり、それが過去の議論の積み重ねに基づいていないと感じています。この状況を踏まえ、市役所の位置条例が否決されたため、現在地での建替えや長寿命化を含めて改めてフラットに議論を行ったうえでの合意形成を進めることが求められると考えていますが、いかがでしょうか。	今回の案は、これまで積み重ねてきた調査や議論のこれは延長線上にあると私（市長）は考えております。そうした基礎的な条件、状況を踏まえた上で、どう進められるかという風に考えてきた案ということになります。
69	現庁舎に議会棟や市長室、生涯学習センターのホール、中央図書館を移す計画について、物理的なスペースや機能面で非常に難しいと考えます。特にオンライン説明会の際に説明された、ホールを議会と併用する案は、議会の優先使用やホールのイベントとの兼ね合いで難しいと思われます。計画は位置条例が否決されたための窮余の策として出したものであり、合理性や必要性が問われている裁判も進行中で、判決も市に厳しいものとなるでしょう。計画の進行は便宜的であるため、市長選で民意を問うべきと思いますが。いかがでしょう。	確かに位置条例の改正が可決しないという現実があることから、今回の新しい案が出てきたというのは事実です。ただこの問題はこの１年、２年で始まった話ではなく、東日本大震災以降約 10 年の様々な議論、調査を積み重ねて行ってきたものになります。その中で、大事な部分として、災害に強いまちをつくっていく、そのために災害に強い市庁舎をつくっていくというところを大切にしながら今回の案を出しています。そのため、決して無理がある、急に出てきたものではないことはご理解をいただきたいと考えています。 また、ホールの機能をどのようなものにするのかは議論があるところだと考えています。市議会（議場）も使われてない日数が結構たくさんあり、それを有効活用するというのは、議会の中からも出ている話になります。そのため、議会とホールの機能を両方合わせることは、十分できる話ではないかなと考えています。ただそれにより、求められているレベルのホールができないということになると、そこについてはまた議論が出てくるところだと考えています。しかしながら、議会機能、ホール機能をより有効活用していくという点で兼用していくことはありうるのではないかと考えています。
70	新案にも関わってきますが、市長には本音で喋っていただきたい。 今回新案っていうのは誰が作ったのか知らないんですが、改善とも妥協とも選挙対策とも考えられる。何のための新案なのか、本音で喋って欲しい。	本音が見えない、真意が伝わってないというのは、力量不足なのかもしれませんが、決して本音で話してないということは一切なく、丸裸でここに出てきています。私自身のことも、もちろん考えたい自分もいますが市長という立場を預からせていただいている以上、そのような私心は二の次として考え、この任期を預からせていただいている間は、何がこのまちのためになるのかを考え、徹底的にやるべきことをやることだけ考えてやっています。したがって、今回こうして現実的に議会で条例改正がとおらないという状況になったときに、災害に強いまちを実現していくことを、一刻も早く進めていくことに何が一番いいのかということを考えた結果、今回の案になっています
71	7月 23 日に実施した記者会見で市長が提案した新市庁舎の移転案に対して不安と疑問をもっています。現在の場所での建て替えを調査して欲しいと希望しているものの、市長がその検討をする気がないと感じています。また、深沢への移転案に対して安全面での懸念があり、私は賛成できません。特に液状化や地盤に関する問題についてもっと詳しい説明が求められると思います。さらに、市議会で摩擦杭の説明がありましたが、その安全性に対して疑問を持つ声が上がっていることや、市議会において住民投票を求める声があったにも関わらず、その実施が行われなかったことを懸念しています。	ご意見として承ります。
72	市役所に問合せをすると、即答できない職員が多く、教育が不足していると考えている。市役所移転よりも人材	今回の案を折衷案であるとは、発言していません。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	育成が先であると考えます。 移転については反対意見も多数ありますが、その争いを治めることは市長がやらなければならないと思います。 ネット記事に折衷案と書いてありましたが、今回の案は折衷案だとおっしゃられましたか。	
73	白紙にして、もっともっと会議を重ねてください。	ご意見として承ります。
74	こういう機会をもっと作るのでしょうか。それともこれで終わりなのでしょうか。深沢のまちづくりもいつの間にか進んでおり、決まっていないのにいつの間にか土地が真っ平になっています。	いつの間にか真っ平になっていたということではなく、しっかり手続を踏みながら、議会にも報告したうえで進めています。
75	新庁舎を整備するために先走って平らにしたのですか。	新庁舎のためだけに平らにしたわけではなく、深沢のまちづくりのために約 30 ヘクタール全体で区画整理を実施しているものになります。
76	災害に強いが肝要なのであれば、市役所職員の人材育成をまずやるべきであると考えます。	人材育成というところはしっかり実施していきます。
77	市役所は災害時に、みんなが緊急避難できる場所として残しておいていただきたいし、そしてそこに備蓄もちゃんとできるようにしてください。	これまでの計画でも、現庁舎の場所を利活用していく中では、災害対応が可能となるように新しく建て替えるか、現在の建物を補強していくことを検討しており、もちろん今回の方針においても災害対応（避難者受入れ（一時的や津波時）など）ができるよう整備する検討をしています。
78	市が実施した調査によると、現存する施設の長寿命化には 19 億円が必要であると報告されています。この費用は修繕費用の 7 億円と、筋交いや電源設備の維持費としての 12 億円を含んでいます。長寿命化にこの費用が必要であることを市民に対してオープンにしてほしいです。	ご質問の資料について、ホームページで見られるようにしたいと考えております。 誤解していただくと困るのは、執務室が足りないことや、耐震ブレースを増やすことにより使えなくなる執務スペース分をどこで確保するかなどは、対策費用に全く含まれていないため、その辺について誤解を生まないよう対応を考えたいと思います。 【鎌倉市本庁舎劣化調査・機能維持対策(BCP)策定業務報告書（平成 28 年（2016 年）11 月】 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/hontyosya-hakko.html

※それぞれの日程でいただいた質問（時間内に扱えなかったものを含む）に対して、改めて回答を整理したもので、日程間で用語・表現の統一を図っています。
※投稿された質問は原文のまま掲載しています。口述で受け付けた質問は要約を掲載しています。
※位置条例：鎌倉市役所の位置を定める条例